

令和7年度 第2回

# 日本仏教スカウト協議会定例理事会

日時：令和7年12月12日（金） 13：30～

会場：天台宗務庁 大会議室

# 令和7年度 第2回 日本仏教スカウト協議会 定例理事会

日 時：令和7年12月12日（金） 13：30～16：00

会 場：天台宗務庁 大会議室

次 第：1. 開会の辞

2. 挨拶

3. 報告・資料確認

4. 議長選出

5. 開議

議題1. 第19回日本スカウトジャンボリーについて

議題2. 第26回仏教ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト  
指導者研修会について

議題3. その他

6. 議長解任

7. 閉会の辞

議題１．第１９回日本スカウトジャンボリーについて

ボーイスカウト日本連盟事務局提供の『基本実施要領』より抜粋

付表－１ 第１９回日本スカウトジャンボリー 標準日程表

時刻	基本日課	第1日 8月4日(火)	第2日 8月5日(水)	第3日 8月6日(木)	第4日 8月7日(金)	第5日 8月8日(土)	第6日 8月9日(日)	第7日 8月10日(月)
		参加者入場 設営						
06:00	起床		起床・洗面					
07:00	朝食		朝食					
08:00								
08:30	国旗掲揚							
09:00	午前の活動							
10:00			プログラム	プログラム	信仰奨励 プログラム	プログラム	プログラム	撤営 参加者退場
11:00								
12:00	昼食・休憩							
13:00	昼食・休憩							
14:00								
15:00			午後の活動	プログラム	プログラム	プログラム	プログラム	プログラム
16:00								
17:00			夕食					
18:00	夕食							
18:30	国旗降納							
19:00	夜間の活動	開会式	隊交歓	隊交歓	ジャンボリー 大集会	隊交歓	閉会式	
20:00								
21:00	就寝							
22:00	消灯	消灯						

※ 全体行事の開始時間については変更することがある。

〈基本日課〉

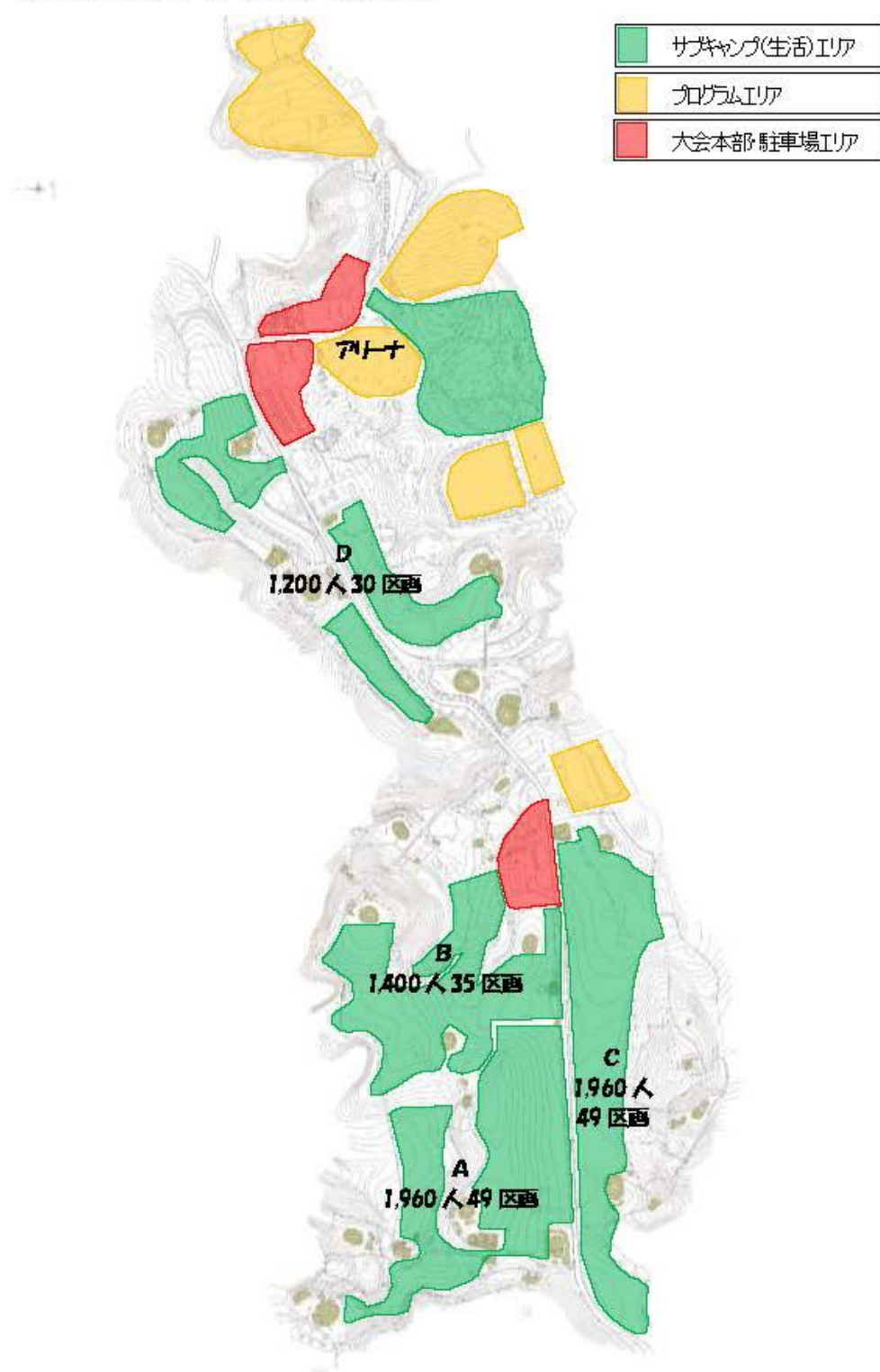
起床	6:00	夕食	18:00
朝食	7:00	国旗降納	18:30
国旗掲揚	8:30	夜間の活動	19:00～21:00
午前の活動	9:00～12:00	就寝	21:00
昼食・休憩	12:00～13:30	消灯	22:00
午後の活動	13:30～16:30		

○日本仏教スカウト協議会主催レセプション

日時：令和８年８月６日（木）１８：００～２０：００

会場：又来軒（ゆうらいけん）福山ニューキャッスル店

付表-3 第19回日本スカウトジャンボリー会場周辺図



## ②分担金について

- ・日本仏教スカウト協議会 事業費会計 現在高  
1, 4 6 3, 6 6 9 円 (令和7年12月12日現在)
- ・令和元年12月9日開催の令和元年度第2回日本仏教スカウト協議会予算専門委員会で決定された事項 (曹洞宗事務局担当時)  
○支出概算として800, 000円で試算
  1. 第18回日本スカウトジャンボリー開催に関する支出 500, 000円
  2. ガールスカウト研修会・仏教スカウト指導者研修会に関する支出 300, 000円

(単位：円)

NO	加盟教宗派名	NS17 分担金	NS18 分担金	比較増減 (△は減)
1	孝 道 教 団	100,000	<u>60,000</u>	△ 40,000
2	高 野 山 真 言 宗	100,000	<u>60,000</u>	△ 40,000
3	浄 土 宗	180,000	<u>108,000</u>	△ 72,000
4	浄 土 真 宗 本 願 寺 派	200,000	<u>120,000</u>	△ 80,000
5	真 宗 大 谷 派	200,000	<u>120,000</u>	△ 80,000
6	真 宗 興 正 派	35,000	<u>21,000</u>	△ 14,000
7	聖 観 音 宗	35,000	<u>21,000</u>	△ 14,000
8	曹 洞 宗	120,000	<u>72,000</u>	△ 48,000
9	日 蓮 宗	120,000	<u>72,000</u>	△ 48,000
10	本 門 佛 立 宗	35,000	<u>21,000</u>	△ 14,000
11	立 正 佼 成 会	100,000	<u>60,000</u>	△ 40,000
12	天 台 宗	120,000	<u>72,000</u>	△ 48,000
	合 計	1,345,000	<u>807,000</u>	△ 538,000

※第18回日本スカウトジャンボリーがコロナ禍により分散開催となったため、  
分担金は集めなかった。

議題2. 第26回仏教ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト指導者研修会について

- ・期日：令和9年2月27日（土）～28日（日）
- ・会場：延暦寺会館 住所：滋賀県大津市坂本本町4220  
電話：077-578-0047
- ・内容：今後事務局で検討

議題3. その他

①会議資料データの共有について

試験的にグーグルドライブを作成。

二次元コードを読み取っていただくと会議資料データをご確認いただけますので、ご活用ください。

②その他

今後の日程

- ・第19回日本スカウトジャンボリー第2回準備委員会  
日時：令和8年2月27日（金）13：30～16：00  
会場：天台宗務庁 会議室
- ・会計監査  
日時：令和8年5月18日（月）14：00～14：30  
会場：天台宗務庁 会議室
- ・令和8年度第1回定例理事会  
日時：令和8年5月18日（月）15：00～17：00 会議後懇親会あり  
会場：天台宗務庁 会議室
- ・第19回日本スカウトジャンボリーレセプション（日本仏教スカウト協議会主催）  
日時：令和8年8月6日（木）18：00～20：00  
会場：又来軒（ゆうらいけん）福山ニューキャッスル店
- ・第26回仏教ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト指導者研修会  
期日：令和9年2月27日（土）～28日（日）  
会場：延暦寺会館

## 令和7年度 第2回 日本仏教スカウト協議会 定例理事会 会議録

日 時：令和7年12月12日（金） 13：30～15：30

会 場：天台宗務庁 大会議室

参 加 者：詳細別紙

次 第：1. 開会の辞

2. 挨拶

3. 報告・資料確認

4. 議長選出

5. 開議

議題1. 第19回日本スカウトジャンボリーについて

議題2. 第26回ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト  
指導者研修会について

議題3. その他

6. 議長解任

7. 閉会の辞

○配付資料：会議レジュメ

会議出欠一覧表

第19回日本スカウトジャンボリー基本実施要領

ジャンボリーインフォメーション第1・2号

○決定事項

- ・分担金については、再度事務局で素案を作成し、令和8年2月27日（金）開催の第2回ジャンボリー準備委員会にて検討し、同年5月18日（月）に開催の令和8年度第1回定例理事会に提案していく。

○今後の課題

第19回日本スカウトジャンボリーについて

- ・ボーイスカウト日本連盟との情報共有。
- ・宗教儀礼会場の確定。
- ・平和貢献プログラムの企画立案。
- ・分担金のあり方、予算専門委員会の設置の有無。
- ・レセプション案内発送者の確定。

第26回ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト指導者研修会について

- ・研修内容の確定。

○以下、議事録

- ・冒頭の理事長挨拶

源田俊昭理事長から挨拶の中で、第19回日本スカウトジャンボリーが広島で開催されることの意義について、第二次世界大戦終戦から80年が経過していることから、日本仏教スカウト協議会として平和貢献プログラムを企画してもらいたいとの提言があった。具体的には戦争犠牲者の語り部の方を現場にお呼びし、戦争の悲惨さを次世代に伝えてもらうなど、被害者の証言を直接聞く機会を設けてもらいたいとのこと。出席の理事からも賛同の声が多数あり、今後事務局で要検討。

- ・議長選出

天台宗参務社会部長原徳明が選出された。

- ・開議

議題1. 第19回日本スカウトジャンボリーについて

①実施概要について

資料に沿って事務局幹事小嶋から説明があった。期間中、参加するスカウトの熱中症対策として、プログラム時間の短縮も考慮してもらいたいとの要望が挙げられた。詳細は令和8年2月27日（金）に開催予定の第2回ジャンボリー準備委員会にて検討していく。

- ・信仰奨励プログラムは8月7日（金）午前中を予定している。
- ・パビリオンは天竺キャンプ場に設置予定。
- ・宗教儀礼の実施場所は未確定。アリーナの使用を要望している。

日本仏教スカウト協議会が主催するレセプションを令和8年8月6日（木）18：00～JR福山駅前にある又来軒（ゆうらいけん）福



山ニューキャッスル店にて開催する。

- ・会費は1万円程度。
- ・加盟教宗派宛ての案内については、今後事務局で検討する。
- ・宿泊の手配は各自手配。（福山駅周辺のホテルは混雑が予想されるので早めの予約を推奨）

## ②分担金について

資料に沿って事務局幹事赤松から説明があった。今後、事務局で再度素案を作成し、ジャンボリー準備委員会にて協議を進め、予算専門委員会の設置も視野に入れながら、次年度の第1回定例理事会に提案する。以下、意見抜粋。

- ・事務局としては既存算額でも十分対応できる。
- ・少額でも分担金を集め、次回に備えてプールすべきである。
- ・実施計画が具体化していない段階では予算決定は困難であり、予算専門委員会を設置すべき。
- ・各宗派の次年度予算折衝では、第17回と同じ規模を想定しているとの説明は必要だろう。

## 議題2. 第26回ガールスカウト研修会・第14回仏教スカウト指導者研修会について

副理事長赤松と事務局幹事赤松から説明があった。以下、意見抜粋。

- ・研修内容は未定。今後事務局で検討する。
- ・キリスト教等の他宗教の方がこの研修会を見学したいとのこと。  
事務局としては参加してもらってもよいと考えている。参加費などについては今後要検討。

## 議題3. その他

### ①会議資料データの共有について

事務局幹事赤松より、試験的にグーグルドライブを作成したことが報告された。令和7年度以降の会議資料などをPDF形式でアップロードしているので、当協議会加盟教宗派内でも共有・活用していただきたい。

### ②その他

今後の日程について事務局幹事赤松から説明があった。  
質疑応答なし。

以上

# 日本仏教スカウト協議会 規約

(名称)

第1条 この会は、日本仏教スカウト協議会といい、**Japan Buddhist Scout Conference (JBSC)** とも称する。

(事務局)

第2条 この会の事務局は、2年ごとに各宗派持回りとする。

(目的)

第3条 この会は、ボーイスカウト並びにガールスカウト日本連盟の諸規定に従い、仏教精神に基づいて青少年を育成し、仏教各宗派相互の連絡提携を図ることをもって目的とする。

(構成)

第4条 この会は、この会の目的に賛同し、ボーイスカウト並びにガールスカウト日本連盟に加盟する各宗派スカウト指導者及びその宗務担当者でもって構成する。

2 この会に、新たに入会を希望する各派は、理事会の承認を得なければならない。

(事業)

第5条 この会は、目的達成のために次のことを行う。

- (1) 各宗派のスカウトの連絡に関すること。
- (2) 全国各寺院・教会その他における仏教スカウトの育成並びに促進に関すること。
- (3) その他、目的を達成するために必要なこと。

(役員)

第6条 この会に、次の役員をおく。

- (1) 理事長 1名
- (2) 副理事長 若干名
- (3) 理事 若干名
- (4) 幹事 若干名
- (5) 会計監査 2名
- (6) 名誉役員 若干名

(任務)

第7条 この会の役員の任務は次の通りとし、任期は2年とする。

- (1) 理事長 この会を代表する。
- (2) 副理事長 理事長をたすけ、理事長事故あるときは代行する。
- (3) 理事 それぞれの立場でこの会の運営に参画する。
- (4) 幹事 この会の事務全般にあたる。(ただし議決には加わらない)
- (5) 会計監査 この会の経理の監査にあたる。
- (6) 名誉役員 この会の顧問または相談役にあたる。(ただし議決には加わらない)

(会議)

第8条 この会の会議は次の通りとする。

(1) 理事会 この会の規約第6条の役員でもって構成し、毎年2回、ただし必要のあるときは臨時に開く。(役員以外の参席を妨げない)

(2) 委員会 理事会が必要と認めたとき、目的、期間を定めて設置される。

2 理事会は理事長が招集し、委員会は初回を理事長が、次回より互選の委員長が招集する。

(経費)

第9条 この会の経費は、各宗派分担金及び寄付金をもってこれに充てる。

(会計年度)

第10条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(細則)

第11条 この規約の施行に必要な細則は、理事会の議を経て別に定めることができる。

(改正)

第12条 この規約を改正するときは、理事会の3分2以上の同意を要する。(委任状を含む)

付 則 この規約は昭和47年4月1日から施行する。

昭和53年3月30日一部改正。

昭和58年5月12日一部改正。

平成26年5月21日一部改正。

# 日本仏教スカウト協議会規約の施行細則

## 1. 役員選出に関する細則

- (1) この細則は、本会規約第6条の「役員」の選出について定める。
- (2) 理事長は、本会規約第2条による事務局担当宗派のスカウト関係者の互選により就任する。
- (3) 副理事長は、次の区分により就任する。
  - ①本会の事務局を次期に担当する宗派のスカウト関係者の互選によるもの 1名。
  - ②本会のガールスカウト部門から選ばれたもの 1名。(ただし、ガールスカウト関係者が理事長または前項の副理事長となった場合はこれを除く)
- (4) 理事は、次の区分により就任する。各宗派スカウト指導者のうち、
  - ①1) 各宗派スカウト指導者のうち、ボーイスカウト関係者 1名。
  - 2) 各宗派スカウト指導者のうち、ガールスカウト関係者 1名。
  - 3) 各宗派におけるスカウトに関する宗務担当者 1名。
  - ②学識経験者で理事長の指名した者 若干名。(ただし、理事会の承認を要す。また構成宗派の数を超えてはならない)
- (5) 幹事は、事務局長1名。事務局員若干名。とし、次の区分により就任する。  
(理事との兼任は妨げないが、議決には加わることは出来ない)
- 2 事務局長及び事務局員は、事務局担当宗派より選出し就任する。
- (6) 会計監査は、前期並びに次期事務局担当宗派よりそれぞれ1名を選出し就任する。(理事との兼務は妨げない)
- (7) 名誉役員は、顧問若干名。相談役若干名。とし、次の区分により就任する。
  - 2 顧問は、ボーイスカウト並びにガールスカウト日本連盟に設置されている宗教に関する部門に属する方の中から、理事会で推薦し委嘱する。
  - 3 相談役は、本会に功労のあった方の中から、理事会で推薦し委嘱する。

## 2. ガールスカウト連絡委員会に関する細則

- (1) この細則は、本会規約第8条(2)の「委員会」に基づく『ガールスカウト連絡委員会』について定める。
- (2) この委員会は、ガールスカウト部門の横の連絡を円滑にすると共に、その代議機関となることを目的とし、期間は常設とする。
- (3) この委員会は、各宗派から選ばれた2名までの連絡委員で構成し、その任期は、本会員と同じとする。
- (4) この委員会の委員長は、連絡委員の中から互選する。(各宗派順次交代制を原則とする)
- (5) この委員会に副委員長を1名おき、委員長を補佐する。連絡委員の中から互選する。

# 第19回日本スカウトジャンボリー

## 基本実施要領

「挑戦 ～神石から未来への一歩～」

広島県 神石高原

2026（令和8） 8月4日（火）～10日（月）



公益財団法人

**ボーイスカウト日本連盟**

（2025年3月8日（土）第5回理事会 承認）

# 目 次

第 1 章	開催の趣旨 .....	1
第 2 章	名 称 .....	2
第 3 章	テ ー マ .....	2
第 4 章	会 期 .....	2
第 5 章	会場の地理的条件 .....	2
第 6 章	参 加 者 .....	3
第 7 章	加盟員の参加 .....	4
第 8 章	参加に要する経費 .....	6
第 9 章	参加の申し込み .....	6
第10章	ジャンボリー活動と日程 .....	7
第11章	会場利用計画と参加者の生活 .....	9
第12章	輸 送 .....	11
第13章	入場・退場 .....	11
第14章	安全管理と救護衛生 .....	12
第15章	大会組織と運営 .....	12
第19回日本スカウトジャンボリーに関する留意事項 .....		17
付表ー1	第19回日本スカウトジャンボリー 標準日程表 .....	18
付表ー2	第19回日本スカウトジャンボリー 会場までの交通案内図 .....	19
付表ー3	第19回日本スカウトジャンボリー 会場周辺図 .....	20
付表ー4	大会およびジャンボリー年表 .....	21

# 第1章 開催の趣旨

## 1. 日本スカウトジャンボリー開催にあたって

日本スカウトジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をとおり、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催している。

同時に、日本連盟としては、大会全体を通しスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に係わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を国内外の社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の躍進を図る契機とも捉えている。

## 2. 大会の目的

第19回日本スカウトジャンボリーは、ボーイスカウト日本連盟が2023年から10年間で取り組む第3期中長期計画の各施策を具現化し、2032ビジョンを達成していく機会とする。

風光明媚な瀬戸内海に面しながら、緑豊かな山間地域が広がる備後地域の自然環境を取り入れながら、地域に密着したプログラム、また、スカウト運動が「平和」に貢献していることを実感し、「世界平和」に向けた新たな取り組みを考えるプログラムを展開する。

第19回日本スカウトジャンボリーは、日本全国から一堂に会して開催した第17回大会から8年ぶりの開催となることから、過去の経験に基づきながらも新たな人材を登用し運営することにより、今後のスカウティングを支える成人を増やし、今後も継続して大会が開催できるようにする。

従前の大会よりも参加割合を減らして開催することから、キャンプ生活の工夫により自然環境への負荷を減らす環境に配慮した大会を実践し、参加者と大会運営スタッフが協働しながら快適なキャンプ生活をおくる。

## 3. 神石高原町および神石高原ティアガルテンとの連携協定

広島県神石高原町、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、株式会社ティアガルテンは、第19回日本スカウトジャンボリーを基軸として三者が連携し、地域活性化等に資するよう連携協定を2024年6月24日に締結したことから、企画・準備段階より次の項目が実現できるよう取り組む。

### (1) 地域資源の活用

地域資源（自然、文化、人、企業等）を活用した大会づくりによる地域活性化に関すること。

### (2) 国際交流、海外への情報発信

海外参加者との国際交流とともに、世界に向けた神石高原の魅力発信に関すること。

### (3) 地域交流

地域ボランティア活動を通じた地域貢献、地域交流に関すること。

### (4) 観光振興

国内外からの参加者と地域住民との交流を通じた、観光振興に関すること。

### (5) 次世代を担う青少年の育成

ふるさと納税を活用した、次世代を担う青少年育成に関すること。

### (6) 持続可能な地域づくり

大会を通じて、地域の「人のつながり」を強化し、すべての世代をお互いにおもいやりある、持続可能な地域づくりに関すること。

## 第2章 名 称

### 第19回日本スカウトジャンボリー（略称：19NSJ）

（英語名称 19th NIPPON SCOUT JAMBOREE）

## 第3章 テ ー マ

### 「挑戦 ～神石から未来への一歩～」

スカウト一人ひとりがジャンボリーを通じて、未来に向かって力強く歩みを進めるような新たな挑戦をしてほしいという願いが込められています。豊かな自然に囲まれた神石高原で、全国から集まる仲間たちと共に、さまざまな活動や交流を行い、それぞれの未来を切り拓けるよう、新たな一歩を踏み出しましょう！

## 第4章 会 期

令和8年（2026年） 8月4日（火）～10日（月） 6泊7日間

プログラム活動を十分に提供するとともに、自発活動に基づくゆとりのあるキャンプ生活を実践するため、また、日本連盟で提唱するスカウト教育を十分に発揮するための長期キャンプの実施という観点から大会期間（入場から退場まで）を6泊7日間とする。

第19回日本スカウトジャンボリーの参加者は、8月4日（木）に入場し、8月10日（水）に退場する。また、多彩なプログラム活動を全参加者に提供するため、プログラムについては4日間実施する。

〈日程表〉

全体行事

日 数	日 程	主な行事	午 前	午 後	夜 間
	8月1日（土）	先発スタッフ入場・設営	先発スタッフ入場・設営		準備作業
前々日	8月2日（日）	大会運営スタッフ入場・設営	大会運営スタッフ入場・設営		事前訓練
前 日	8月3日（月）	準備作業	準備作業		
第1日	8月4日（火）	参加者入場・設営・開会式	参加者入場・設営		開会式
第2日	8月5日（水）	プログラム	プログラム	プログラム	
第3日	8月6日（木）	プログラム	プログラム	プログラム	
第4日	8月7日（金）	信仰奨励・ジャンボリー大集会	信仰奨励	プログラム	ジャンボリー大集会
第5日	8月8日（土）	プログラム	プログラム	プログラム	
第6日	8月9日（日）	プログラム・閉会式	プログラム	プログラム	閉会式
第7日	8月10日（月）	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場		
翌 日	8月11日（火）	撤営・大会運営スタッフ退場	撤営・大会運営スタッフ退場		
	8月12日（水）	撤営・後発スタッフ退場			

## 第5章 会場の地理的条件

### 1. 会 場

広島県神石郡神石高原（じんせきこうげん）

北緯34度74分41秒・東経133度31分87秒 海拔 平均700m

福山市の中心地・JR福山駅から約38km、山陽自動車の福山東インターから約36km、いずれからも国道182号線を経由して車で1時間弱。中国自動車道の東城インターから車で約27km・30分。

### 2. 地勢・面積

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とする。



### 3. 気 候

過去5年間の8月の気候は、平均気温24.2（最低20.0度、最高29.7度）、また平均降雨量は199.1mmであり、高原地特有の気候である。

〈参考：過去の大会の気候〉

回数	開催年	会場	海拔	平均気温	最低気温	最高気温	平均降水量
14	平成18(2006)年	石川県 珠洲	5m	25.6℃	21.5℃	30.3℃	2.8mm
15	平成22(2010)年	静岡県 朝霧高原	800m	22.7℃	19.7℃	28.3℃	9.1mm
16	平成25(2013)年	山口県 きらら浜	2.7m	32.2℃	27.2℃	40.0℃	0.9mm
17	平成30(2018)年	石川県 珠洲	5m	26.5℃	20.9℃	36.3℃	0.6mm

## 第6章 参 加 者

### 1. 参加者

本大会は、加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者とともに派遣隊・班を編成する。

本大会は、青年・成人の大会運営スタッフにより運営される。大会運営スタッフの人数は、派遣隊数に応じて各県連盟へ割り当てる。

派遣隊には、外国連盟、ガールスカウトをはじめとする関係諸団体ならびに一般からの青少年の参加を歓迎する。また、大会運営スタッフにも、加盟員はもとより外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体、一般成人等からの奉仕を歓迎する。

心身や発達の障がいなど特別な配慮を必要とする参加者や大会運営スタッフが、参加・奉仕しやすくなるよう運営に際しては合理的配慮を推進する。

### 2. 派遣団の編成

大会の参加にあたっては、ボーイスカウトの都道府県連盟(以下、県連盟と略す)、各国連盟、関係諸団体単位で派遣団を編成する。海外からのスカウト関係者の参加は、当該国連盟が承認した派遣団とする。

派遣団は、派遣隊および大会運営スタッフで編成し、諸調整を行う派遣団本部スタッフを置く。少人数の派遣団においては、派遣隊指導者や大会運営スタッフが派遣団本部スタッフを兼ねることができる。

### 3. 参加人員

国内スカウト運動最大の国際キャンプ大会として、次の参加者をもって8千人規模で開催する。

参加の区分	内訳	人数
派遣隊	(1) ボーイスカウトおよびベンチャースカウト	4,800人
	(2) 上記の引率指導者	1,200人
	(3) 外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体等	400人
大会運営スタッフ		1,600人
派遣団本部スタッフ		
合計		8,000人

### 4. 加盟員以外の参加

ボーイスカウト加盟員以外の関係諸団体および一般からの青少年の参加は、参加者の所属する当該組織と協議のうえ、次章以降の加盟員の参加資格等に準拠して別に定める。

### 5. 来訪者・来賓

参加者以外に会場に訪れる見学者等の来訪者、および日本連盟が招待する来賓等については、別に定める。

## 第7章 加盟員の参加

### 1. 参加人員の割当

参加人員の割当は次のとおりとし、県連盟は割り当てられた人数を責任を持って確保する。

#### (1) 派遣隊

派遣隊は、2024(令和6)年度加盟登録(2025年3月31日時点)のボーイスカウト部門およびベンチャースカウト部門のスカウト登録人数に基づき、派遣隊数をブロックごとに割り当て、ブロック内で県連盟ごとの派遣隊数・参加人数を調整する。

#### (2) 大会運営スタッフ

大会運営スタッフの人数は、派遣隊数・参加人数に応じて県連盟に割り当てる。

#### (3) 県連盟派遣団本部スタッフ

県連盟の派遣団本部スタッフについては、別に定める。

### 2. 参加資格

参加するスカウトおよび指導者は、2026(令和8)年度の加盟登録を有し、2頁の日程表に示す8月4日から8月10日までの6泊7日間のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有するよう各団が責任を持って訓練する。

また、スカウトおよび未成年者の参加にあたっては、保護者の参加の同意を得ること。

#### (1) ボーイスカウト(BS)

ボーイスカウトで、上記の参加資格を有すると隊長が認めた者。

#### (2) ベンチャースカウト(VS)

① ベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると隊長が認めた者。

② 派遣隊指導者の指導のもと、隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム参加および生活面での支援を行うことができること。特に上級班長については、ベンチャースカウトの中から、指導力を有する1級スカウト章以上の技能のある者であり、班長・次長として6か月以上の経験を有することが望ましい。

#### (3) 派遣隊の指導者

隊指導者として、教育規程に定められた役務に応じて必要な資格を有するか、県連盟がこれと同等の資質と経験を有すると認めた者。参加スカウトに女子が含まれる場合は、指導者のうち、少なくとも1人は女性とする。

① 隊長 20歳以上で、隊指導者基礎訓練課程のボーイスカウトまたはベンチャースカウト課程を履修した者。ただし、25歳以上が望ましい。

② 副長 20歳以上で、導入訓練課程の訓練を修了した者。ただし、隊指導者基礎訓練課程の修了者が望ましい。

③ 副長補 18歳以上で、導入訓練課程の訓練を修了した者が望ましい。

#### (4) 県連盟派遣団本部スタッフ

県連盟の役員および事務局職員等。

#### (5) 大会運営スタッフ

① ローバースカウト、指導者、県連盟・日本連盟の役員および事務局職員、スカウトクラブ会員等。

② 日本連盟が要請する各分野における専門家(外部インストラクター・協力者等)。

#### (6) 演技グループ

ボーイスカウトの音楽隊や鼓隊等、全体行事の演技者として参加する隊の指導者・スカウトの参加資格は、当該県連盟と協議のうえ別に定める。

### 3. 派遣隊の編成

#### (1) 派遣隊の編成

派遣隊は、次の基準により編成する。特段の事情により、この基準によらず隊を編成する必要がある場合は、県連盟を通じて日本連盟と事前協議を行い、承認を得ること。

隊指導者は、隊長と副長の2人を最低人数として、必要に応じて副長・副長補を任命して最大8人程度までで編成する。場外プログラムへの参加を考慮して、各班に引率できる隊指導者人数を確保する。

40人に満たない編成の場合には、県連盟内または県連盟同士の調整により、少人数隊を同じ隊サイトに割当てることがある。

隊 長	1 人
副長および副長補	1～7人程度（ただし少なくとも1人は副長とする）
上級班長（ベンチャースカウト）	（1人）上級班長の人数はV S 班に含める
ベンチャースカウト班 1 各班	4～8 人
ボーイスカウト班 4 各班	28～32 人
計40人以内	

#### (2) 班の編成

生活およびプログラム参加を考慮して、また、ボーイスカウトのリーダーシップを発揮させるよう、ボーイスカウトとベンチャースカウトに分けて別の班編成とする。

#### (3) ベンチャースカウトの参加

ベンチャースカウトは、隊指導者の指導のもと、派遣隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム活動やキャンプ生活を支援することで、自ら隊活動の楽しさを体感しながら後輩のボーイスカウトに範を示し、彼らの上進意欲に繋げる。

また、ベンチャースカウトは、ボーイスカウトと同様にジャンボリーのプログラム活動に参加するとともに、大会運営のための奉仕活動にも取り組みながら、国内外の多くのスカウト仲間と出会い、隊活動の楽しさやスカウト運動の広がりを体感させる。

#### (4) 派遣隊編成にあたっての留意事項

##### ① 指導者の選任

派遣隊方式の場合には、引率する指導者も限られるので、指導者としての経験と今後の活躍の両面を考慮して、より多くの指導者にジャンボリーを経験してもらい人材育成につながるよう指導者を選任する。

長期の休暇が取れないことから、年配者が指導者となることが多いが、年配者の体力や健康に起因するトラブルも発生している。年配者を選任する場合には、今一度、体力や健康状態を確認し、参加に向けて十分な体調管理を行うこと。

##### ② コミュニケーション

加盟登録人数の減少に伴い、従前よりも広範囲の地域にて派遣隊を編成したり、少人数の県連盟では近隣の県連盟と混成で派遣隊を編成したりすることが多くなっている。一堂に集まっの事前訓練が行えず、参加者や保護者とのコミュニケーションが不足し、参加者相互のトラブルや、スカウトや保護者からの指導者への不信感となることがある。

複数の団により派遣隊を編成していることから、スカウト・指導者・保護者それぞれのコミュニケーションを通常の隊活動以上に配慮する。

### 4. 参加日程

参加者は、2頁の日程表に示す入場日から退場日までの全日程に参加することを原則とする。

## 第8章 参加に要する経費

### 1. 大会参加費

参加者1人あたりの負担金は60,000円とし、日本連盟加盟員は予納金と残額を分割して納入する。本大会は、大地震や火山噴火などの自然災害や未知の感染症が発生した場合には、大会を中止する場合がある。その場合、納入された参加費は、大会準備に要した諸経費を差し引いた額を返金することとする。

**(1) 参加費の予納金** (2025 年 1 1 月末日までに日本連盟に納入する)

参加者は 1 人あたり 10,000 円を予納金として、参加予定申し込みと同時に所属県連盟をとおして日本連盟に納入する。

予納金は、他の参加者の予納金として振り替えることはできるが、払い戻しはしない。また、予納金は参加確定申し込みの際に納入する他の参加者の参加費の一部として振り替えることもできない。

**(2) 参加費の残額** (2026 年 4 月 2 0 日までに日本連盟に納入する)

参加者は参加費の残額 1 人あたり 50,000 円を、参加確定申し込みと同時に所属県連盟をとおして日本連盟に納入する。

参加確定申し込み時に納入する参加費は、他の参加者の参加費に振り替えることはできるが、日本連盟に納入した参加費の払い戻しはしない。

**2. 大会参加費の一括納入**

外国派遣団、ガールスカウト、関係諸団体ならびに一般青少年等の加盟員以外からの参加者は、申込期日・申し込み手続きの関係から、大会参加費（予納金および残金）を一括して、参加申し込み時に納入することができる。

**3. 経費の内訳**

大会参加費は、大会の準備および開催に要する経費に充てる。

**(1) 諸準備から報告書作成までの経費**

**(2) 8 月 4 日(火)夕食から 8 月 1 0 日(月)朝食分までの 1 7 食分の食料費（主食の米を含む）**

※大会運営スタッフと派遣団本部スタッフは、8 月 2 日(日)夕食から 8 月 1 1 日(火)朝食までの 2 6 食分

**(3) 炊事用等の燃料費**

**(4) 配付資料、参加章等の費用**

**(5) 会場の設備費および運営費**

**(6) 場内外で実施するプログラムの経費**

**(7) 会期中の救護衛生費**

**(8) 賠償責任保険の保険料**

**(9) その他**

**4. 大会参加費以外の財源**

大会参加費以外の財源として、企業協賛・助成金等を積極的に獲得する。

## 第 9 章 参加の申し込み

**1. 参加予定申し込み**

**(1) 各団の手続き**

各団は、派遣隊と大会運営スタッフの参加希望者をとりまとめ、予納金(1 人あたり 10,000 円)を添えて、2025 年 1 0 月末日までに所属県連盟に提出する。

**(2) 県連盟の手続き**

各県連盟は、県連盟内の参加予定人員その他について次の項目別に整理し、2025 年 1 1 月末日までに参加予定申込書と予納金を日本連盟事務局に提出する。

**① 派遣隊のスカウトおよび指導者の参加予定人数**

**② 県連盟派遣団本部スタッフの人数と名簿**

**③ 大会運営スタッフの人数と名簿**

**④ 人員および荷物の輸送計画**

**2. 参加確定申し込み**

**(1) 参加者の手続き**

参加者は、参加確定申込書に必要事項を記入し、参加費の残額(1 人あたり 50,000 円)を添えて、2026 年 4 月 1 0 日までに所属県連盟に提出する。

## (2) 県連盟の手続き

各県連盟は、参加確定申込書および参加費をとりまとめ、2026年4月20日までに日本連盟事務局に提出する。

## (3) 事前送付

日本連盟事務局は、確定申込書を受領後、参加章等その他必要な物品、書類を、県連盟を通じて送付する。

## (4) 参加者の超過

参加確定申し込みを越える追加参加は認めない。

### 〈準備日程〉

時期	日本連盟の準備・連絡	県連盟・地区・団の準備
2025年 (令和7年)	6月 基本実施要領の公開・参加者割当を通知	県連盟内・地区内の割当を調整
		団内・保護者等に案内 団内で指導者とスカウトの参加希望を調整 近隣の団との派遣隊・班編成を調整
	9月 参加予定申し込み・第1次輸送調査を実施	
	県連盟締め切り(10月末日)	派遣団の輸送計画を検討・調整
	日本連盟締め切り(11月末日)	
2026年 (令和8年)	1月 参加確定申し込み・第2次輸送調査を実施	大会参加に向けた隊訓練
	県連盟締め切り(4月10日)	
	4月 日本連盟締め切り(4月20日)	
	7月 資料等の事前送付	
	8月 大会開催	大会参加

## 第10章 ジャンボリー活動と日程

### 1. ジャンボリー活動

ジャンボリー活動は、大会期間を中心にその前後のすべての活動を含む、一連のまとまりのあるプログラムである。それには、参加の動機付、準備訓練、大会期間中のキャンプ生活、大会プログラムへの参加、参加者同士の交流、帰宅後の評価と報告までのすべてが含まれている。

大会のプログラムは、今後の日本スカウトジャンボリーにも継承される内容となるよう次の点に留意しながら企画し、すべての参加者の成長を助けるよう身体的、精神的、知的、情緒的な発達と社会性を育むことを目標に、それぞれをバランス良く配分して提供する。

- 進級課目と関連させて、進級の目標が持てるプログラム
- ボーイスカウトおよびベンチャースカウト部門の活動の特色を発揮できるプログラム
- ジャンボリーに向けて準備を進めることで、隊活動が活性化されるプログラム
- 野外活動を基本に、体験活動や体力を使うダイナミックなプログラム
- 班（小グループ）活動を活用して展開できるプログラム
- 開催地の特色や周囲の環境を活かした、魅力あるプログラム。
- 関係組織や諸団体の協力を得て、多様で専門性のあるプログラム

また、大会プログラムの運営と実施については、次の点に留意して構築する。

- 魅力的な活動を安全な環境のもとで実施する。
- 開催地の自然環境を活かしながら、大会による影響を最小限に止めた設備とする。
- 廃棄物の発生を最小限にするとともに、資源やエネルギーの節約、再使用、再生利用等に配慮する。

## 2. プログラムの区分

### (1) プログラム

隊サイトでの野営生活の実践や、サブキャンプでの展開、場内外で行われる各種プログラムに参加することにより、すべての参加者が体験する。プログラムの詳細、区分等は別に定めるが、次のものを予定している。

#### ① 競技的プログラム

進級課目と関連させた班や個人の対抗競技により、一つ上の進級を目指すとともに、班のチームワークを高める。

#### ② チャレンジプログラム

会場の広さや参加人数を体験できる大会の規模を活用したプログラムで、スカウトのチャレンジ精神を高揚させる。

#### ③ 知的・体験プログラム

場内外で陸・海・空の自然、科学、伝統・文化を基本としたテーマで、体験活動を取り入れたプログラムを展開し、スカウト活動の魅力を体感したり、将来の進路選択に向けたキャリア形成を促したりできる。

#### ⑤ 信仰・奉仕活動

宗教行事への参加や、隊や班におけるスカウトズOWN・サービスを通じ、「ちかい」と「おきて」の実践や、平和や恵みについて考え、スカウトとして行動を起こす。

#### ⑥ 野営生活

隊や班サイトの設営・撤営、日々の生活（野外炊事等）を行うことにより、野営生活に必要な「衣食住」の技術を定着させ、リーダーシップ、チームワーク、フォロワーシップを育成する。

#### ⑦ 交流プログラム

隊や住んでいる地域の紹介をPDCAサイクルにより実践し、隊や班同士の交流を促す。

### (2) スカウトセンター

スカウトセンターでは、外国派遣団、日本各地（県連盟またはブロック）のスカウト活動の紹介や、団体・企業等の活動を紹介する。スカウトセンターは、参加者が余暇の時間を利用して自由に訪れることができ、見学者にも開放する。

### (3) 全体行事

#### ① 開会式

参加者が大会の開会を祝い、本大会の趣旨を確認する。

#### ② ジャンボリー大集会

異なる文化・信条を持つ参加者同士が、参加する国や地域などによる特色ある演技等の鑑賞をとおして、世界に広がるスカウト運動を体感し、団結する。

#### ③ 閉会式

ジャンボリー会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人・物・環境について感謝の心を持つ。そして、大会で出会った仲間との再会を約束するなど、ジャンボリーで学んだことへの実践を誓う。

### (4) ジャンボリーアワード

参加スカウトがキャンプ生活を含む期間中の諸活動に積極的に取り組めるよう、参加スカウトを対象としたアワードを設ける。このアワードは大会プログラムの完修章ではなく、指導者がスカウトの個人的進歩を評価する方法であり、期間中の活動を記録しながら振り返り、大会後の目標設定に役立ててもらう。

### (5) スカウト通信員

スカウト通信員は県連盟または各派遣隊から選ばれ、大会を通じて得た体験や経験をスカウト自身のメッセージとして社会に伝えるために、各種メディア等の制作に参画する機会を提供する。

## 3. 日程

プログラム実施日については、2頁の日程表のとおりとし、実施時間については、次の基本日課の午前・午後・夜間の活動時間内とする。

### 〈基本日課〉

起床	6 : 0 0	夕食	1 8 : 0 0
朝食	7 : 0 0	国旗降納	1 8 : 3 0
国旗掲揚	8 : 3 0	夜間の活動	1 9 : 3 0 ~ 2 1 : 0 0
午前の活動	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	就寝	2 1 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0	消灯	2 2 : 0 0
午後の活動	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0		

## 第 1 1 章 会場利用計画と参加者の生活

### 1. 会場利用計画の区分

#### (1) 生活地域（サブキャンプ）

派遣隊の生活地域として4か所のサブキャンプと成人生活地域を設置する。各サブキャンプは、面積に応じた区画数に区分し、派遣隊を分散配置する。分散配置の割合は、各県連盟の予定申し込み隊数と実情を考慮して弾力的に定める。

外国派遣団のサブキャンプへの配属は別に定める。

派遣団本部スタッフと大会本部各部の大会運営スタッフと派遣団本部スタッフは、成人生活地域で生活する。サブキャンプ本部のスタッフは、当該サブキャンプで生活する。

##### ① 派遣隊のキャンプ地

派遣隊のキャンプ地は、40人に対して1区画600㎡を基本に計画し、少人数の派遣隊については、複数の隊で1つの隊サイトを利用する。複数隊での隊サイトの利用に際しては、県連盟派遣団本部またはサブキャンプ本部により隊の組み合わせを調整する。

この他、外国派遣団、ガールスカウト、関係諸団体、一般参加者、協力者等の生活サイトについては別に定める。

##### ② 生活設備

サブキャンプエリアには、参加者の生活に必要な給水所、汚水枥、トイレ、シャワーを設置する。

仙養ヶ原のある近田地区の水道水を分けてもらい大会で使用するが、従前の大会に比べ1人あたりで利用できる水量が少ないことから、給水やシャワーの時間を制限することがある。少ない水での調理や片付け、洗面、短時間でのシャワーができるよう事前から訓練しておくこと。

##### ③ 広場・営火場

各サブキャンプには、派遣隊が共有して利用するサブキャンプ広場と営火場を設置する。

#### (2) アリーナ地域

開会式・閉会式等の全体行事を実施するアリーナ地域を設ける。

#### (3) プログラム地域とスカウトセンター

プログラムのテーマや区分に応じて、プログラムエリアを設ける。各テーマや区分に応じて、事務所と倉庫として利用するテントを設置する。

外国派遣団、日本各地（県連盟またはブロック）のスカウト活動の紹介や、団体・企業等の活動を紹介する展示エリアとしてスカウトセンターを設ける。

#### (4) 売店地域

会場内に次の売店と食堂を設ける。

- 大会記念品等を扱うスカウト用品売店
- 参加者の生活に必要な生活雑貨や飲料等の日用品、郵便や宅配等のサービス、地元物産品等を扱う一般売店
- 見学者に向けた軽食や弁当等を扱う一般食堂

#### (5) 大会本部地域

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域を設ける。大会本部の事務所機能や会議所は、各派遣団も利用できる。

## (6) 駐車地域

- ① 場内駐車場  
業務用車両、来賓のための駐車場を場内に設ける。
- ② 場外駐車場  
参加者、来訪者の留置き車両のための駐車場を場外に設け、会場までのシャトルバスを運行する。

## 2. 食事（配給）

### (1) 食料の配給

派遣隊の食事は野外炊事とし、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受ける。  
食料の配給は、8月4日(火)夕食分から8月10日(月)朝食分までの17食分を配給する。

### (2) 炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて次のとおり配給する。

- ① 材質・仕様  
間伐材、除伐材を中心とした針葉樹。  
長さ約30cm、太さ一辺約6cm。
- ② 配給数量  
40人あたり20束相当（1束あたり約7kg）を基本として、サブキャンプにて各派遣隊の人数に応じた相当数量を配給する。

### (3) スタッフの食事

大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、朝食と夕食は本部食堂にて給食を受け、昼食の携行食の配給を受ける。

給食および昼食の配給は、8月2日(日)夕食分から8月11日(火)朝食分までの26食分とする。  
先発・後発のスタッフの食事については、別に定める。

### (4) 標準献立

標準献立表は、別に示す。

## 3. 服装および携行品

### (1) 服装

加盟員が、全体行事（開会式、ジャンボリー大集会、閉会式）に参加する際は、制服を着用する。制服には参加章、記章、標章を正しく着用する。

生活や作業の際には、それに適した服装とし、プログラム参加時の服装・携行品については、別に示す。

### (2) 携行品

#### ① 派遣隊の携行品

19NSJの携行品およびキャンプ用装備は、快適なキャンプ生活を維持し、かつ楽しいジャンボリー活動が展開できるよう、簡素で、しかも精選されたものを準備する。これらの装備品等は準備訓練で十分使い慣れておくこと。生活地域（サブキャンプ）は日陰が少ないので、フライシート等の日除けが必要である。

#### ② 大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフの携行品

大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、生活に必要な個人装備品と宿泊用のテント等を持参する。

#### ③ 外国派遣団

外国派遣団は、生活に必要な個人装備品を持参する。テント等の隊装備品は、別に定める。

## 第12章 輸 送

### 1. 輸送計画

各派遣団は、当該派遣隊と大会運営スタッフの輸送計画を立案し、調整を行う。

大会本部は、会場内で一度に停車・乗降できるバスの台数に限りがあるため、到着・出発の時間帯を定め、各派遣団の輸送調査を踏まえ、各派遣団の到着・出発時刻を全国的に調整する。



## 2. 集散移動に要する経費

参加者の居住地から会場までの集散移動に要する経費は、すべて参加者の負担とする。

## 3. キャンプ装備・備品等の輸送

- 個人の携行品は、参加者が各自で携行することを原則とする。
- 派遣隊、派遣団本部、大会運営スタッフの装備・備品等の荷造発送方法は、別に示す。
- 輸送に関する細部は、別に定める。

## 4. 個人の車両

会期中、会場内における個人の車両の使用は認めない。

## 5. 会場内の交通制限

会期中、会場内を通行できる車両は、大会本部、警察、消防、報道、郵便、関係業者等の大会業務に必要な車両に限定し、その基準は別に定める。

# 第 13 章 入場・退場

## 1. 派遣隊の集散

全国の派遣隊の集散の所要日数を同じにするため、集合時には会場に近い派遣団から入場し、解散時には遠い派遣団から退出することを基準とする。

会場近隣への影響と安全な誘導を考慮して、深夜・早朝の入退場は行わない。

### (1) 入 場

派遣隊は、8月4日(火)の朝から夕食までに会場に到着し、同日の夕刻に開始する開会式までに設営を完了する。

### (2) 退 場

派遣隊は、8月10日(月)の朝から夕刻までに会場を出発する。午前中に出発は、遠方の派遣団を優先する。

### (3) 手続き

入場・退場に関する手続きは、別に示す。

## 2. 大会運営スタッフの集散

### (1) 入場・退場

大会運営スタッフの入場は、8月2日(日)の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了する。

大会運営スタッフの退場は、派遣隊の退場完了後とし、8月11日(火)の朝から夕刻までを予定する。入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は別に示す。

### (2) 先発・後発スタッフ

事前の準備から携わる実行本部、運営委員会と専門部会の委員、ならびに大会運営スタッフの到着受け入れや退場等に必要なスタッフは、予め運営委員会から入場・退場日時が指示される。先発・後発スタッフの細部については、別に示す。

# 第 14 章 安全管理と救護衛生

## 1. 安全管理・事故の防止

大会の参加者は、快適なキャンプ生活を過ごすとともに、ジャンボリーを心に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。

特に派遣隊において指導者は、キャンプ生活・プログラム活動をとおして、安全指導、安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみから大事故につながる恐れがあることを忘れず、安全の三原則を厳守しなければならない。

#### 《安全の三原則》

自分の安全は自分で守る  
ルールを守る  
安全を最優先にする

### 2. セーフ・フロム・ハーム

大会に参加するすべての指導者は、日本連盟のセーフ・フロム・ハームのガイドラインを遵守して、スカウト運動の信頼を強め、自らの身を守り安全で安心できる活動を展開する。  
参加者が期間中の悩みなどを相談できる相談窓口や、リラックスできる休憩所を設置する。

### 3. 健康管理・個人衛生

参加者は、各指導者の指導のもとに、健康管理と保健衛生に十分留意する。会場は朝夕の寒暖の差があることから、晴れた日中には真夏日が予想されるので熱中症や食中毒予防への備えるとともに、雨の日や夜には涼しくなるので服装等に注意する。

ここ数回の日本スカウトジャンボリーでは、救護所の受診者数が全参加者の1割を超えたことから、参加者自身による健康管理と指導者による応急手当への備えを徹底する。派遣隊指導者は、あらかじめ参加スカウトの持病、アレルギー、特異体質、服用中の薬品等を把握するとともに、軽度な傷病に対して衛生材料等を備える。

### 4. 救護所

会場内の参加者の健康管理と傷病に対して万全を期するため、可能な限りの応急処置ができる本部救護所と、サブキャンプやアリーナ等に応急手当ができるファースト・エイド・ポイントを設置する。また、外部の医療機関との連携をはかり、傷病の度合いにより搬送、受診ができるように手配を行う。

## 第15章 大会組織と運営

### 1. 準備・運営の方針

大会の準備・運営にあたっては、本大会の目的が達成できるように次のことに配慮する。

- 大会運営スタッフは、主役はスカウトであることを常に念頭に置き、彼らの成長に寄与できる運営を心がけるとともに参加者に対してサービス精神を持って対応する。
- 運営を円滑に進めるために、部署間で情報の共有化を図り、パートナーシップを強くする。
- 外国参加者への対応については、特定の部署のみで行わず必要な業務に応じて各部署で行う。
- 生活設備等についても参加者へのサービスを考えたものとする。
- 大会運営スタッフの宿泊については本部宿泊地として一か所に定める。
- 「残すものは感謝のみ」というスカウト精神に基づき、環境に配慮した運営を行う。

### 2. 準備・運営の組織

日本連盟は、都道府県連盟および関係諸団体等からの人的支援により、理事会のもとに実行本部と運営委員会、専門部会を編成し、大会運営に関わる諸準備を推進する。

本大会の運営は、参加者へのサービスの質と組織運営の効率化を高めるため、10の部署によって分掌し、各部の業務の連携を図るために4つの分野に分けて副野営長が統括する。

本大会では、サブキャンプの業務も大会本部の部署として、他部署と連携しながら業務を進める。

### 3. サブキャンプの組織と役割

各サブキャンプで、共通したサービス提供と効率的な業務運営を行うために、大会本部のサブキャンプ部で運営する。

サブキャンプは、単に参加者の生活の場だけではなく、内外の多くのスカウト仲間と出会い、さまざまな活動や意義深い交流が展開できる場である。各参加者は、サブキャンプの一員として仲間意識を高め、協働しながら食材の配給や清掃作業等の日々の業務を分担する。

サブキャンプ本部は、各派遣隊の指導者と定期的に会合を持ち、プログラム参加等の大会情報を提供すると

ともに、日々の活動について派遣隊指導者を支援する。

#### 4. 派遣団本部の役割

派遣団本部は、当該派遣団の参加申し込み等の諸手続きや輸送計画を調整するとともに、派遣団の参加者に大会の情報を伝え、参加の準備を支援する。

派遣団本部は、大会期間中の当該派遣団参加者に関する事件・事故等の問題解決について、大会本部を支援する。また、各派遣団本部に設置するパビリオンを運営し、各県・各国の郷土紹介、活動紹介を行うとともに、派遣団提供プログラムの支援を行う。

#### 5. 派遣隊指導者の役割

ジャンボリー活動は、参加するスカウトのために構成されており、各派遣隊の指導者によりスカウトの学習・体験を支援し、個人の成長・発達を促すことが必要である。

各派遣隊の指導者は、所属する派遣団と連携しながら参加者の申し込みや準備訓練、人員や備品等の輸送など参加に関する準備を進め、大会に関する情報を団関係者や、隊内の参加者とその保護者に提供していかねなければならない。

また、期間中は派遣隊スカウトの指導・管理と併せて、サブキャンプスタッフの一員として、サブキャンプ本部および他の派遣隊指導者と協力して、参加者の健康と安全に十分留意した快適なキャンプ生活と大会プログラムの円滑な実施のため、必要な役割を担う。

#### 6. 大会本部各部の所掌業務

No	部 名	所 掌 業 務
1	総 務 部	1. 大会本部各部との連絡調整に関すること 2. 大会本部の会議等の運営に関すること 3. 参加者の申込・受付に関すること 4. 外国派遣団の受入れおよび連絡調整に関すること 5. 大会の事務に関すること 6. 見学者に関すること 7. 来賓・来訪者に関すること 8. レセプションに関すること 9. 参加者・見学者の救護に関すること 10. その他各部の所掌に属さないこと
2	サブキャンプ部	1. サブキャンプ内の派遣隊指導者同士のコミュニケーションに関すること 2. 期間中の派遣隊への連絡に関すること 3. 派遣隊の生活に関すること 4. 派遣隊のプログラム参加に関すること 5. 派遣団との連絡調整に関すること 6. 遺失物・拾得物に関すること
3	スタッフサービス部	1. 大会運営スタッフの各部への配属に関すること 2. 大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフの生活に関すること 3. 成人のプログラムに関すること
4	プログラム部	1. ジョイン・イン・ジャンボリーに関すること 2. 場内プログラムに関すること 3. 場外プログラムに関すること 4. 場外プログラムバスに関すること 5. 信仰奨励に関すること 6. ジャンボリーアワードに関すること 7. 全体行事の計画と実施に関すること 8. 国旗儀礼の実施に関すること 9. アリーナの使用統制に関すること 10. その他大会のプログラム・行事に関すること

No	部 名	所 掌 業 務
5	安全・警備部	1. 参加者の安全管理に関すること 2. 会場内の警備に関すること 3. 防災に関すること 4. セーフ・フロム・ハームに関すること 5. 大会の危機管理に関すること 6. 参加者の緊急避難に関すること
6	輸 送 部	1. 場内・会場周辺の交通統制に関すること 2. 参加者の集散輸送に関すること 3. 大会期間中の人員・荷物の輸送に関すること 4. 業務用車両と給油に関すること 5. 駐車場に関すること
7	会場運営部	1. 会場の利用に関すること 2. 施設・設備の構築と維持管理に関すること 3. 資材・器具の調達と配分に関すること 4. ごみ処理に関すること 5. 尿尿処理に関すること
8	配給・食堂部	1. 参加者の食料に関すること 2. 本部食堂に関すること 3. 非常用食料に関すること 4. 炊事用燃料の調達と配分に関すること
9	広 報 部	1. 大会の情報提供に関すること 2. 参加者のコミュニケーションに関すること 3. 大会の露出媒体に関すること 4. 報道機関に関すること 5. 写真や映像等による大会記録に関すること 6. スカウト通信員プログラムに関すること
10	売 店 部	1. 売店地域に関すること 2. 出店者との連絡調整に関すること
11	そ の 他	次の業務については、日本連盟の常設委員会や特別委員会等と連携しながら進める 1. ファンドレイジング委員会 ● 企業協賛・助成金等に関すること 2. DXタスクチーム ● 参加者・見学者等の各種申し込みに関すること ● 大会公式ウェブページや専用アプリに関すること ● 派遣団や大会本部との情報共有に関すること 3. DEI 特別委員会 ● 多様性のある参加者・運営スタッフ・見学者の受け入れのための方策について ● 参加する指導者・スカウトへのDEI (Diversity、Equity、Inclusion) の理解促進について

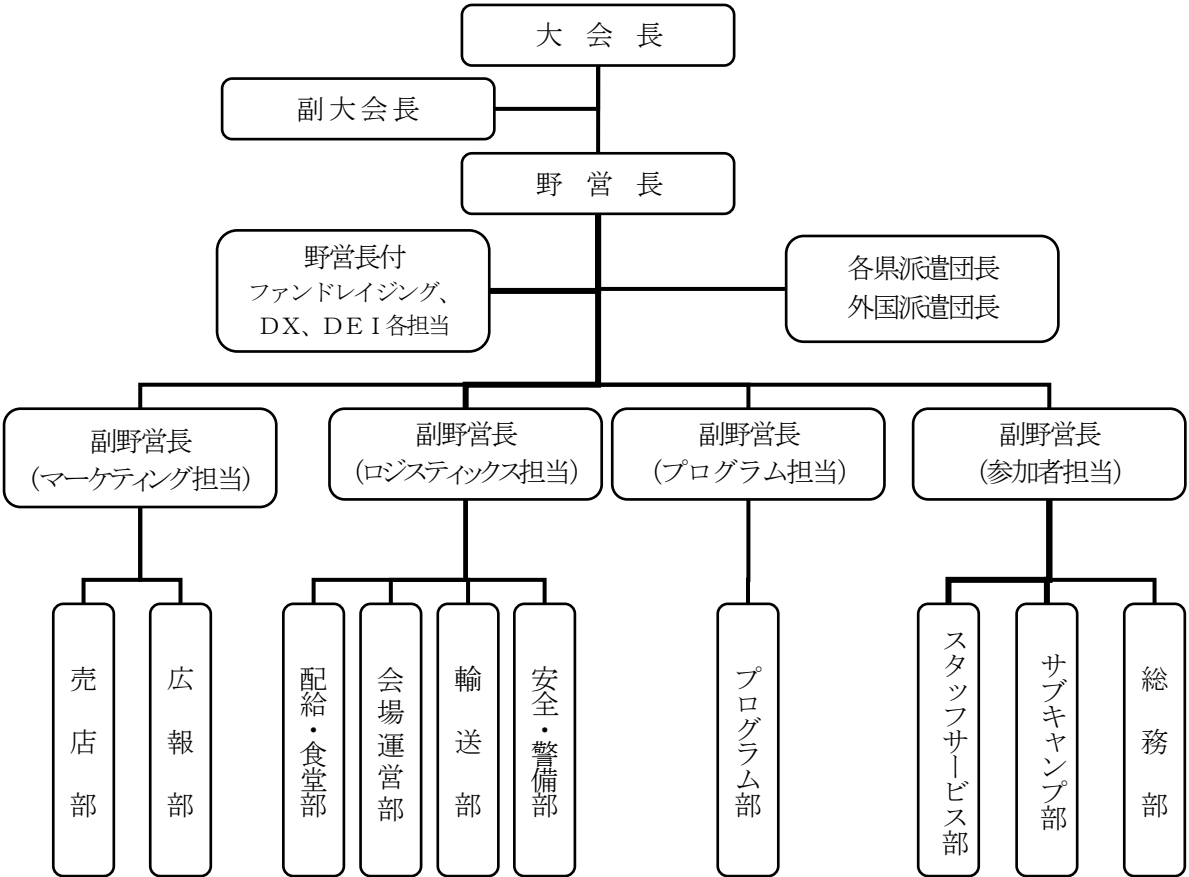
## 7. サブキャンプ内各班の所掌業務

No.	担当	所 掌 業 務	隊指導者の協力
1	サブキャンプチーフ 副サブキャンプチーフ	各担当マネージャーと連携して、主に次の業務を担当する。 1. 隊指導者との連絡調整に関する事 2. サブキャンプ内の会議等の運営に関する事 3. サブキャンプスタッフの配属に関する事	
2	参加者担当 マネージャー	大会本部総務部および広報部と連携して、次の業務を分掌する。 1. 派遣団本部との連絡調整に関する事 2. 参加者の入場・退場手続きに関する事 3. 参加者への情報提供に関する事 4. 外国参加者の受入れおよび連絡調整に関する事 5. サブキャンプ内の事務と記録に関する事 6. 参加者の応急手当に関する事 7. サブキャンプ内の取材に関する事 8. スカウト通信員プログラムに関する事 9. その他各担当の所掌に属さない事	
3	生活担当 マネージャー	大会本部の安全・警備部および会場運営部と連携して、次の業務を分掌する。 1. 参加者の安全管理に関する事 2. サブキャンプ内の警備に関する事 3. サブキャンプ内の防災と緊急避難に関する事 4. 野営規律の維持と野営生活の指導に関する事 5. サブキャンプ内の遺失物・拾得物に関する事 6. 参加者のカウンセリングに関する事 7. サブキャンプの利用に関する事 8. 参加者のキャンプサイトに関する事 9. 参加者の設営・撤営の指導に関する事 10. サブキャンプ内施設の管理に関する事 11. 借用資器材の配分に関する事 12. ごみ処理に関する事 13. 尿尿処理に関する事	清掃作業 ごみ集積
4	配給担当 マネージャー	大会本部の配給・食堂部と連携して、次の業務を分掌する。 1. 参加者の食料配給に関する事 2. 参加者の炊事用燃料の配分に関する事	配給作業
5	プログラム担当 マネージャー	大会本部のプログラム部と連携して、次の業務を分掌する。 1. 場内外プログラムの参加調整に関する事 2. サブキャンププログラムに関する事 3. ジャンボリーアワードの交付に関する事 4. 全体行事・国旗掲揚等の代表スカウトに関する事 5. 全体行事参加に関する事	

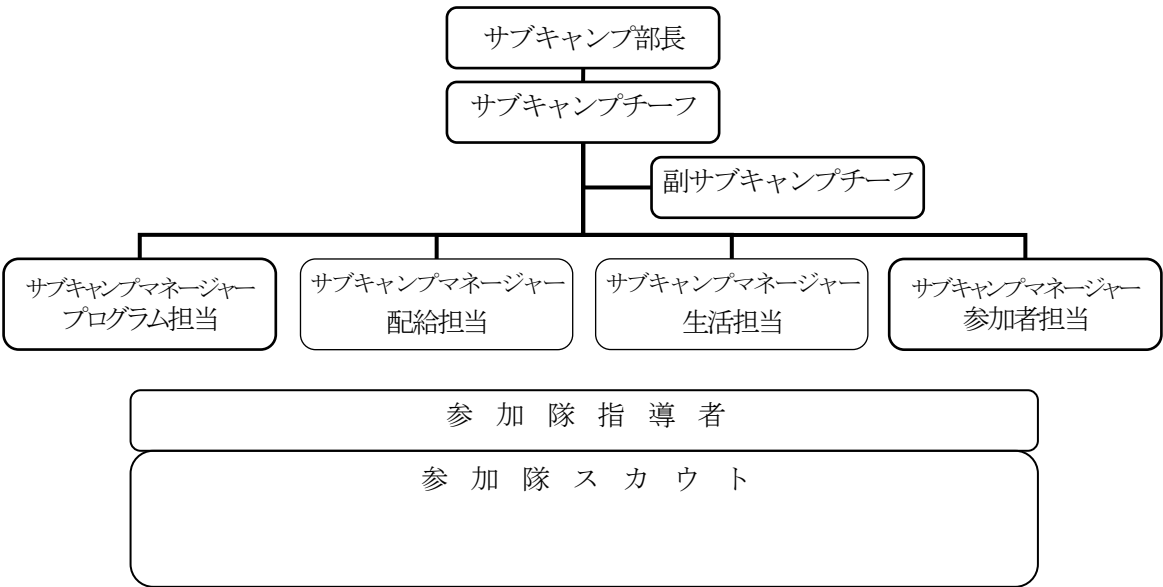
## 8. 派遣団本部の業務内容

1. 参加者の参加準備の支援に関する事 2. 参加者の参加申し込み、入場・退場手続きに関する事 3. 参加者の集散輸送と資器材輸送に関する事 4. 派遣隊のサイト割り当てと大会運営スタッフの宿泊に関する事 5. 期間中の各派遣隊や大会運営スタッフとの連絡調整に関する事 6. 参加者の事件・事故に関する事 7. 参加者の傷病への看護や急な帰宅等への対応に関する事 8. 場内プログラムへの協力および全体行事への出演に関する事
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9. 大会本部組織図



10. サブキャンプの組織イメージ



## 第19回日本スカウトジャンボリーに関する留意事項

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟では、本大会の開催に向けて、次の留意事項を大会参加者や関係者へ、広く周知していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 1. 環境に配慮した行動

会場の仙養ヶ原とその周辺は、緑豊かな自然に囲まれ、風光明媚な高原地帯です。地域の人々が恩恵を受けているこの自然環境へ悪い影響を与えないように、大会運営はもとより、大会参加者についても、環境に配慮した行動を心がけ、環境への負荷を少なくした大会とします。

### 2. 個人情報と写真・映像の取り扱い

大会の参加申し込み等によって得た個人情報および健康状態等は、参加者管理のための参加者名簿・参加者データを作成し、大会運営に使用します。また、参加に関する情報提供および運営業務のために、外部委託先や協力団体等に個人情報を提供する場合には、用途と使用期間を限定します。

個人情報の保全・安全管理については、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い、大会業務終了後には速やかに廃棄します。

大会の記録用として撮影した画像、映像はすべて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属することになります。参加者の写真や映像は、ジャンボリー新聞、記録映像、ウェブサイト、報告書等の大会の記録に使用する他、日本連盟の広報媒体によりボーイスカウト運動普及・振興のために使用することがあります。使用に際しては、個人の特定ができないように配慮します。

参加者の個人情報の収集・利用、写真・映像の使用については、参加申し込みをもって承諾を得たものとし、見学者や協力者等もこれに準拠します。

### 3. 加盟員関係者を含む近隣地域でのキャンプの禁止

加盟員関係者が会場の近隣地域でキャンプを行うことによって、本大会との関連性や混同等のトラブルを避けるため、会期中は、ジャンボリー会場から20km以内の範囲でのキャンプを禁止します。

### 4. 関係者への連絡

開催地の自治体、協力機関および周辺の住民に対して、大会に関する連絡を行う場合は、必ず日本連盟事務局を経由しなければなりません。

### 5. 事前視察

会場予定地は、株式会社ティアガルテンが運営するリゾート施設やゴルフ場などの営業施設や、個人・法人等で所有・管理する私有地・公有地のため、事前の視察で用地に立ち入る場合には、予め土地所有者または管理者へ連絡し承諾を得る必要があります。

視察を行う際には、所属の県連盟を通じて日本連盟事務局へ連絡しなければなりません。

### 6. ジャンボリーシンボルマーク・商標の取り扱い

日本連盟の許可なしに、本大会のシンボルマークや日本連盟の商標を付した製品を製作、販売することはできません。

製品の製作、販売する際には、「スカウト章（世界スカウト章を含む）の取り扱いに関する取り決め」（日本連盟規程集・令和6年版は209頁に記載）に基づき、事前に使用申請が必要となります。

### 7. 商品販売

日本連盟は、商品販売を行う売店地域を会場内に指定し、事前に販売品目および価格の調整を済ませた者だけが販売できることとします。会場では参加者に必要な土産品、日用品、サービスを基準に販売が許可され、危険物や参加者に悪影響を及ぼす恐れのある品物は販売できません。

また、日本連盟は、大会への支援者・協力者を考慮して、一部の販売品目について銘柄等、取扱商品を指定する場合があります。

付表－１ 第１９回日本スカウトジャンボリー 標準日程表

		第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日
時刻	基本日課	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)	8月8日(土)	8月9日(日)	8月10日(月)
		参加者入場 設営						
06:00	起床		起床・洗面					
07:00	朝食		朝食					
08:00	国旗掲揚							
08:30								
09:00	午前の活動		プログラム	プログラム	信仰奨励 プログラム	プログラム	プログラム	撤営 参加者退場
10:00								
11:00								
12:00	昼食・休憩		昼食・休憩					
13:00								
14:00	午後の活動							
15:00			プログラム	プログラム	プログラム	プログラム	プログラム	
16:00								
17:00			夕食					
18:00	夕食							
18:30	国旗降納							
19:00	夜間の活動	開会式	隊交歓	隊交歓	ジャンボリー 大集会	隊交歓	閉会式	
20:00								
21:00	就寝							
22:00	消灯	消灯						

※ 全体行事の開始時間については変更することがある。

〈基本日課〉

起床	6:00	夕食	18:00
朝食	7:00	国旗降納	18:30
国旗掲揚	8:30	夜間の活動	19:00～21:00
午前の活動	9:00～12:00	就寝	21:00
昼食・休憩	12:00～13:30	消灯	22:00
午後の活動	13:30～16:30		



付表－２ 第１９回日本スカウトジャンボリー 会場までの交通案内図



●ＪＲ利用の場合

東京→福山	約３時間３０分	(山陽新幹線のぞみ利用)
新大阪→福山	約１時間	(山陽新幹線のぞみ利用)
広島→福山	約２３分	(山陽新幹線のぞみ利用)
博多→福山	約１時間３０分	(山陽新幹線のぞみ利用)

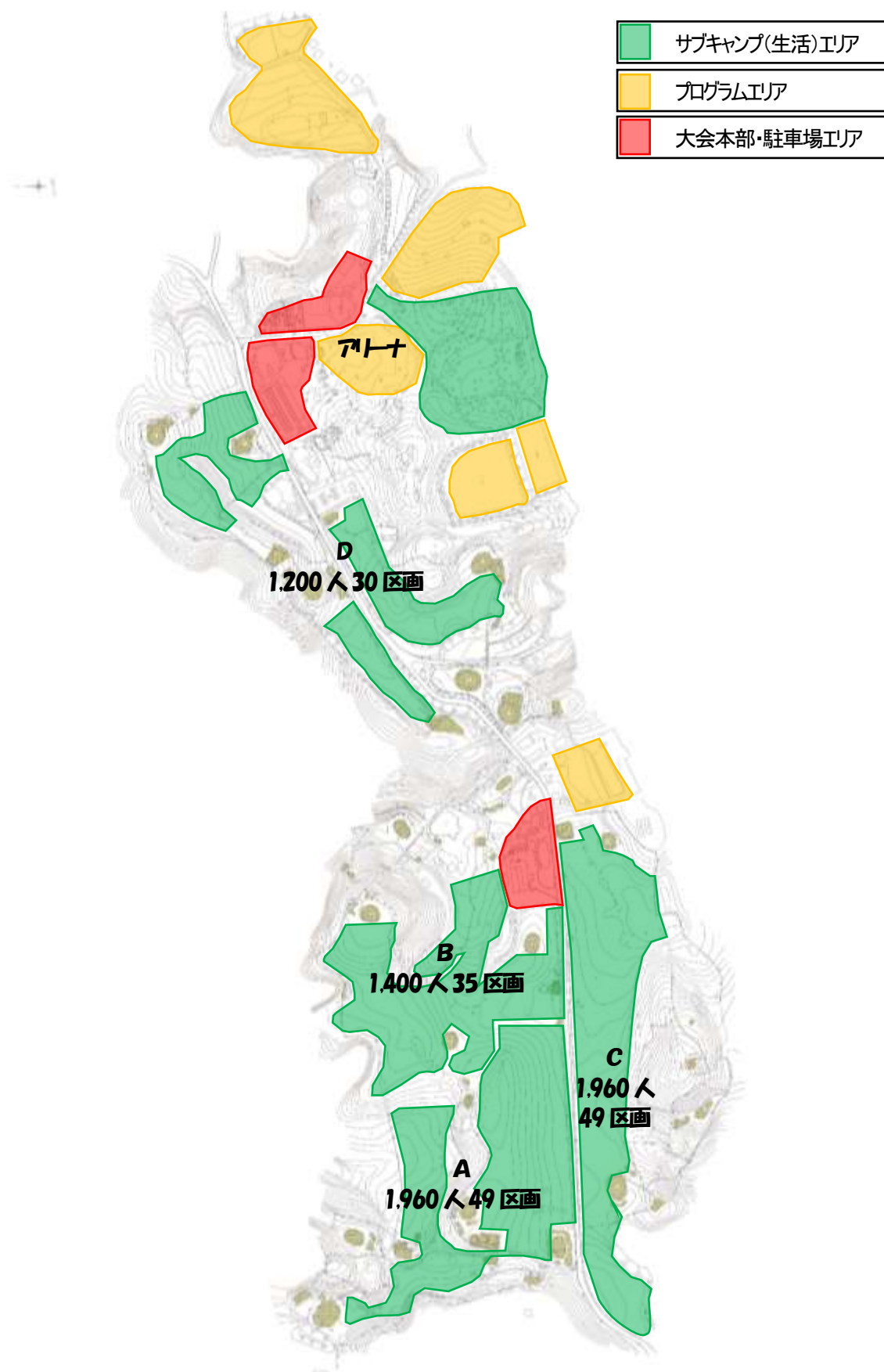
●飛行機利用の場合

新千歳空港	→広島空港	約２時間
仙台空港	→広島空港	約１時間２０分
羽田空港	→広島空港	約１時間２０分
成田空港	→広島空港	約１時間４５分
那覇空港	→広島空港	約１時間５０分
新千歳空港	→岡山空港	約１時間５５分
羽田空港	→岡山空港	約１時間１５分
那覇空港	→岡山空港	約１時間５０分

●自家用車等利用の場合

山陽自動車道福山東ＩＣ	→仙養ヶ原	約３６km	約１時間	(国道１８２号経由)
中国自動車道東城ＩＣ	→仙養ヶ原	約２７km	約３０分	(国道１８２号経由)
ＪＲ福山駅	→仙養ヶ原	約３８km	約１時間	(国道１８２号経由)
ＪＲ東城駅	→仙養ヶ原	約２９km	約４０分	(国道１８２号経由)
広島空港	→仙養ヶ原	約８８km	約１時間３０分	(山陽自動車道・国道１８２号経由)
岡山空港	→仙養ヶ原	約１０１km	約１時間５０分	(山陽自動車道・国道１８２号経由)

付表－３ 第１９回日本スカウトジャンボリー会場周辺図



付表－４ 大会およびジャンボリー年表

項	回数	開催年月	開催場所	参加者数	外国・地域数	日本代表
全国大会	第1回	1949(昭和24)年9.24・9.25	東京都 皇居前・日比谷公園	3,500	1	—
	第2回	1950(昭和25)年8.18～8.20	東京都 新宿御苑	5,000	1	—
	第3回	1951(昭和26)年8.4～8.8	山形県 蔵王	7,067	1	—
日本 (スカウト) ジャンボリー	第1回	1956(昭和31)年8.3～8.7	長野県 軽井沢	13,000	13	—
	第2回	1953(昭和34)年8.6～8.10	滋賀県 饗庭野	17,350	21	—
	第3回	1962(昭和37)年8.3～8.8	静岡県 御殿場	26,181	16	—
	第4回	1966(昭和41)年8.5～8.9	岡山県 日本原	29,561	12	—
	第5回	1970(昭和45)年8.6～8.10	静岡県 朝霧高原	32,640	13	—
	第6回	1974(昭和49)年8.1～8.6	北海道 千歳原	26,305	12	—
	第7回	1978(昭和53)年8.4～8.8	静岡県 御殿場	26,288	15	—
	第8回	1982(昭和57)年8.2～8.6	宮城県 南蔵王	30,144	17	—
	第9回	1986(昭和61)年8.2～8.6	宮城県 南蔵王	30,173	16	—
	第10回	1990(平成2)年8.3～8.7	新潟県 妙高高原	31,972	32	—
	第11回	1994(平成6)年8.3～8.7	大分県 久住高原	30,914	22	—
	第12回	1998(平成10)年8.3～8.7	秋田県 森吉山麓高原	26,740	34	—
	第13回	2002(平成14)年8.3～8.7	大阪府 舞洲スポーツアイランド	20,588	37	—
	第14回	2006(平成18)年8.3～8.7	石川県 珠洲	20,652	38	—
	第15回	2010(平成22)年8.2～8.8	静岡県 朝霧高原	19,382	41	—
	第16回	2013(平成25)年7.31～8.8	山口県 きらら浜	14,340	52	—
	第17回	2018(平成30)年8.4～8.10	石川県 珠洲	13,414	13	—
	第18回	2022(令和4)年夏休み期間	全国各地(分散開催) 255カ所	14,474	—	—
項	回数	開催年月	開催場所	参加者数	参加国・地域数	日本代表
世界 (スカウト) ジャンボリー	第1回	1920(大正9)年7.31～8.7	イギリス ロンドン・オリンピック	8,000	34	3
	第2回	1924(大正13)年8.10～8.23	デンマーク エルメルン	4,549	35	24
	第3回	1929(昭和4)年7.31～8.13	イギリス アローパーク	50,000	69	28
	第4回	1933(昭和8)年8.1～8.15	ハンガリー ゴドーロ	25,792	46	10
	第5回	1937(昭和12)年7.30～8.13	オランダ ボーゲレンザン	28,750	51	10
	第6回	1947(昭和22)年8.9～8.18	フランス モアッソン	24,152	※②	0
	第7回	1951(昭和26)年8.3～8.13	オーストリア バート・イシュル	12,884	61	2
	第8回	1955(昭和30)年8.18～8.28	カナダ ナイアガラ・オン・ザ・レイク	11,139	71	14
	第9回	1957(昭和32)年8.1～8.12	イギリス サットンパーク	35,000	90	22
	第10回	1959(昭和34)年7.17～7.26	フィリピン マッキリン・パーク	12,203	44	520
	第11回	1963(昭和38)年8.1～8.11	ギリシア マラトン	13,717	89	138
	第12回	1967(昭和42)年8.1～8.9	アメリカ アイダホ	12,011	105	318
	第13回	1971(昭和46)年8.2～8.10	日本 静岡県朝霧高原	23,758	87	7,783
	第14回	1975(昭和50)年7.29～8.7	ノルウェー リリハマー	15,292	94	141
	第15回	1983(昭和58)年7.4～7.14	カナダ カナナスキス	16,000	106	42
	第16回	1987(昭和62)年12.30～翌年1.10	オーストラリア カタラ外スカウトパーク	14,600	98	548
	第17回	1991(平成3)年8.8～8.16	韓国 雪岳山国立公園	20,000	135	2,675
	第18回	1995(平成7)年8.1～8.11	オランダ ドロンテン	29,060	166	1,236
	第19回	1998(平成10)年12.27～翌年1.6	チリ ピカルキン	31,000	158	227
	第20回	2002(平成14)年12.28～翌年1.8	タイ サッタヒップ	24,000	144	1,250
	第21回	2007(平成19)年7.27～8.8	イギリス ハイランズパーク	37,868	162	1,510
	第22回	2011(平成23)年7.27～8.7	スウェーデン リンカンビィ	40,061	146	966
	第23回	2015(平成27)年7.28～8.8	日本 山口県きらら浜	33,628	155	6,651
	第24回	2019(令和元)年7.22～8.2	アメリカ サミットベクトルリザーブ	41,843	146	1,207
	第25回	2023(令和5)年8.1～8.12	韓国 セマングム	43,000	157	1,563
	第26回	2027(令和9)年7.30～8.8	ポーランド			

※①各回の内容については、『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』に準拠した。

※②文献に記述がないか、あっても38や70と開きが大きいため不記載とした。



公益財団法人

**ボーイスカウト日本連盟**

〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号

電話 (03) 6913-6262 (代表)

ファクシミリ (03) 6913-6263 (代表)

インターネットホームページ

URL : <http://www.scout.or.jp/>



# 19th NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

## 第1号

第19回日本スカウトジャンボリー  
ジャンボリーインフォメーション  
2025年8月20日発行

### ジャンボリー インフォメーション とは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

#### ■大会概要

開催にあたって・・・1  
大会の目的・・・2  
大会テーマ・・・2  
ワッペンデザイン・・・2  
大会日程・・・2  
参加者・・・2

#### ■生活・サブキャンプ・・・3

生活設備  
食事

#### ■大会の各地域・・・3

#### ■輸送・・・4

#### ■参加申込・・・5

申込期日  
隊の編成  
大会運営スタッフ  
参加費

#### ■神石高原町・・・6

## 大会概要

名称：第19回日本スカウトジャンボリー  
(19th NIPPON SCOUT JAMBOREE : 19NSJ)

会期：2026年8月4日(火)～10日(月)  
6泊7日

参加者：8,000人

会場：広島県・神石高原

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とします。



一般社団法人神石高原町観光協会提供

### 開催にあたって

日本スカウトジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をおし、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。

同時に、日本連盟としては、大会全体をとおりスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に関わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を国内外の社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の躍進を図る契機とも捉えています。

#### ジャンボリーとは

ボーイスカウトのキャンプ大会で、一つの国または地域的・国際的・世界的規模で開かれるものをいいます。

人種・宗教・言語・習慣の違いを超えて、広くスカウトの交流と親善を深めるために開催されています。日本スカウトジャンボリーは1956年から、4年に1度開催されています。



## 大会の目的

19NSJは、ボーイスカウト日本連盟が2023年から10年間で取り組む第3期中長期計画の各施策を具現化し、2032ビジョンを達成していく機会としています。

風光明媚な瀬戸内海に面しながら、緑豊かな山間地域が広がる備後地域の自然環境をのなかで、地域に密着したプログラム、また、スカウト運動が「平和」に貢献していることを実感し、「世界平和」に向けた新たな取り組みを考えるプログラムを展開します。

日本全国から一堂に会して開催した17NSJから8年ぶりの開催となることから、過去の経験に基づきながらも新たな人材を登用し運営することにより、今後のスカウティングを支える成人を増やし、今後も継続して大会が開催できるようにします。

従前の大会よりも参加割合を減らして開催することから、キャンプ生活の工夫により自然環境への負荷を減らす環境に配慮した大会を実践し、参加者と大会運営スタッフが協働しながら快適なキャンプ生活をおくることを目指します。

## 大会テーマ

### 挑戦 ～神石から未来への一歩～

CHALLENGE - A STEP INTO THE FUTURE FROM JINSEKIKOGEN

スカウト一人ひとりがジャンボリーを通じて、未来に向かって力強く歩みを進めるような新たな挑戦をしてほしいという願いが込められています。豊かな自然に囲まれた神石高原で、全国から集まる仲間たちと共に、さまざまな活動や交流を行い、それぞれの未来を切り拓けるよう、新たな一歩を踏み出しましょう！

## 大会ワッペンデザイン

大会テーマ「挑戦 CHALLENGE」の旗を掲げ、未来へ踏み出すスカウトの姿を表現しています。中央の「19」は未来への“一”歩と開催地・神石高原のマップピン“9”を示しています。雲海に包まれた天空のキャンプ場でのスカウトの躍動感をワッペン全体で表しています。



## 大会日程

日程	主な行事
8月 1日(土)	先発スタッフ入場・設営
8月 2日(日)	大会運営スタッフ入場・設営
8月 3日(月)	準備作業
8月 4日(火)	参加者入場・設営・開会式
8月 5日(水)	プログラム
8月 6日(木)	プログラム
8月 7日(金)	信仰奨励 ジャンボリー大集会
8月 8日(土)	プログラム
8月 9日(日)	プログラム・閉会式
8月10日(月)	撤営・参加者退場
8月11日(火)	撤営・大会運営スタッフ退場
8月12日(水)	撤営・後発スタッフ退場

## 参加者

本大会は、ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者とともに派遣隊・班を編成します。

本大会は、青年・成人の大会運営スタッフにより運営されます。大会運営スタッフの人数は、派遣隊数に応じて各県連盟へ割り当てます。

派遣隊には、外国連盟、ガールスカウトをはじめとする関係諸団体ならびに一般からの青少年の参加を歓迎します。また、大会運営スタッフにも、加盟員はもとより外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体、一般成人などからの奉仕を歓迎します。

心身や発達の障がいなど特別な配慮を必要とする参加者や大会運営スタッフが、参加・奉仕しやすくなるよう運営に際しては合理的配慮を推進します。

## 生活・サブキャンプ

派遣隊の生活地域として4つのサブキャンプと成人生活地域を設置します。各サブキャンプは、面積に応じた区画数に区分し、派遣隊を分散配置します。

派遣団本部スタッフと大会本部各部の大会運営スタッフは、成人生活地域で生活し、サブキャンプ本部のスタッフは、当該サブキャンプで生活することとします。

派遣隊のキャンプ地は、40人に対して1区画600㎡を基本に計画し、少人数の派遣隊については、複数の隊で1つの隊サイトを利用します。複数隊での隊サイトの利用に際しては、県連盟派遣団本部またはサブキャンプ本部により隊の組み合わせを調整していきます。

### 生活設備

サブキャンプエリアには、参加者の生活に必要な給水所、汚水枳、トイレ、シャワーを設置します。

なお、仙養ヶ原のある近田地区の水道水を分けてもらい大会で使用しますが、従前の大会に比べ1人あたりで利用できる水量が少ないことから、給水やシャワーの時間を制限することがあります。少ない水での調理や片付け、洗面、短時間でのシャワーができるよう事前から訓練しておくことが求められます。

各サブキャンプには、派遣隊が共有して利用するサブキャンプ広場と営火場を設置します。

### 食事について

#### 食料の配給

派遣隊の食事は野外炊事とし、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます。食料の配給は、8月4日(火)夕食分から8月10日(月)朝食分までの17食分を配給します。

#### 炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて次のとおり配給する計画です。

##### ①材質・仕様

間伐材、除伐材を中心とした針葉樹。

長さ約30cm、太さ一辺約6cm。

##### ②配給数量

40人あたり20束相当（1束あたり約7kg）を基本として、サブキャンプにて各派遣隊の人数に応じた相当数量を配給します。

#### スタッフの食事

大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、朝食と夕食は本部食堂にて給食を受け、昼食の携行食の配給を受けます。

給食および昼食の配給は、8月2日(日)夕食分から8月11日(火)朝食分までの26食分とします。



## 大会の各地域

### アリーナ地域

開会式・閉会式などの全体行事を実施するアリーナ地域を設けます。

### プログラム地域とスカウトセンター

プログラムのテーマや区分に応じて、プログラムエリアを設けます。

また、外国派遣団、日本各地（県連盟またはブロック）のスカウト活動の紹介や、団体・企業などの活動を紹介するエリアとしてスカウトセンターも設けます。

### 売店地域

会場内に大会記念品などを扱うスカウト用品売店、参加者に必要な日用品や地元物産などを扱う一般売店のエリアを設けます。

### 大会本部地域

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域を設けます。大会本部の事務所機能や会議所は、各派遣団の利用も想定しています。

## 輸送

### 派遣隊の入場

全国の派遣隊の集散の所要日数を同じにするため、集合時には会場に近い派遣団から入場し、解散時には遠い派遣団から退出することを基準とします。

会場近隣への影響と安全な誘導を考慮して、深夜・早朝の入退場は行いません。

8月4日（火）の朝から夕食までに会場に到着し、同日の開会式までに設営を完成させます。また、退場時は10日（月）の朝から夕刻までに会場を出発します。

会場内で一度に停車・乗降できるバスの台数に限りがあるため、輸送調査を踏まえて、到着・出発の時間帯を派遣団ごとに定めます。

### 大会運営スタッフの集散

大会運営スタッフの入場は、8月2日（日）の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了します。

退場は、派遣隊の退場完了後とし、8月11日（火）の朝から夕刻までを予定しています。入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は改めてお知らせします。

### キャンプ装備・備品等の輸送

個人の携行品は、参加者が各自で携行することを原則とします。

派遣隊、派遣団本部、大会運営スタッフの装備・備品等の荷造発送方法は、改めてお知らせします。

### 会場内の交通制限

会期中、会場内を通行できる車両は、大会本部、警察、消防、報道、郵便、関係業者などの大会業務に必要な車両に限定し、その基準は別途定めます。

会場内での個人車両の使用はできません。



広島県福山市の中心地・JR福山駅から約38 km、山陽自動車の福山東インターから約36 km、いずれから国道182号を經由して車で1時間弱。中国自動車道の東城インターから車で約27 km・30分。



## 参加申込

19NSJでは、参加予定申込と参加確定申込の2回に分けて、参加申込手続きを実施します。

参加予定申込後の参加者の変更や参加確定申込からの新規申込も可能ですが、次の2点を調整するため、予定申込を行いますことをご理解ください。大会運営スタッフの部署については、予定申込のあった方の希望を優先します。

①派遣隊：予め大会全体での参加人員の調整と内訳人数を把握するため

②大会運営スタッフ：配属部署を調整するため

なお、参加確定申込をもって正式の参加申込としますので、今後の情報にご留意ください。各申込の日程は次のとおりです。

### ●参加予定申込期日

団から県連盟への申込

2025年10月末日

県連盟から日本連盟への申込

2025年11月末日

### ●参加確定申込期日

団から県連盟への申込

2026年4月10日

県連盟から日本連盟への申込

2026年4月20日

### 隊の編成

1こ隊あたり最大40人とします。ボーイスカウト・ベンチャースカウト・指導者の男女別人数を記入してください。隊長については、加盟員No・氏名・所属団・団役務・性別・生年月日・連絡先・職業・研修歴をご記入ください。隊長を除く引率指導者は、やむを得ず全日程参加できない場合には2人1組による交替参加を可能とし、この場合には40人を超えての隊の編成ができます。参加予定申込書には延べ人数をご記入ください。

### 大会運営スタッフ

大会運営スタッフの人数については、各県連盟派遣団の派遣隊1こ隊につき10人以上の推薦をお願いします（既にご推薦いただいているサブキャンプチーフ・マネージャー等はサブキャンプ部となります）。

大会本部の部署と業務内容については、次をご参照ください。

## 参加費

参加費は1人あたり60,000円で、予定申込時に10,000円を予納金として納入し、確定申込時に残りの50,000円を納入します。予納金は各申込書式とともに、各県連盟で取りまとめの上、日本連盟に納入します。

大震災などの自然災害や未知の感染症が発生した場合などにより、主催側がやむを得ず大会を中止する場合には、参加費から大会準備に要した諸経費を差し引いた額を返金いたします。個人の都合による参加辞退は、参加費納入後の払い戻しはしません。ただし、他の参加者に振り替えることはできます。

総務部	大会本部の会議、参加者および見学者の受付、外国派遣団、来賓、救護所等に関すること
サブキャンプ部	サブキャンプの運営、派遣隊の生活やプログラム、遺失物・拾得物に関すること
スタッフサービス部	大会運営スタッフの配属、スタッフの生活に関すること
プログラム部	場内外プログラム、信仰奨励、全体行事に関すること
安全・警備部	参加者の安全管理、会場内の警備、大会の危機管理、緊急避難等に関すること
輸送部	会場内および周辺の交通統制、人員や荷物の輸送、駐車場等に関すること
会場運営部	会場利用、施設、設備、資材、器具、ごみ処理、し尿処理等に関すること
配給・食堂部	参加者の食料や炊事用燃料、スタッフへの給食等に関すること
広報部	大会の情報提供、報道、大会記録、スカウト通信員プログラム等に関すること
売店部	売店地域、スカウトショップ等に関すること

## 神石高原町

### 神石高原町・神石高原ティアガルテンとの連携協定

広島県神石高原町、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、株式会社神石高原ティアガルテンは、本大会を基軸として三者が連携し、地域資源の活用や地域交流などを推進していくこととしています。

### 神石高原町の概要

広島県の東部、山間地域が広がる備後地域の標高約500～700mに位置する神石高原町は、美しい大自然の中にある高原の町です。

町の花：ヒゴタイ（キク科ヒゴタイ属）

初秋に咲くルリ色の丸い花です。

町の木：ヤマボウシ（ミズキ科ミズキ属）

初夏に白い十字架型の花（総苞）をつけ、秋には美しく紅葉します。

人 口：7,661 人（令和7年7月1日現在）

世帯数：3,687 世帯

面 積：381.98km<sup>2</sup>

自然・文化・食など、魅力あふれる  
神石高原町が参加者を待っています！



### ソーシャルメディア（SNS）

神石高原町が実施する事業、施策等の情報や町内各地域での行事などをソーシャルメディアで発信しています。

ぜひ、各SNSをフォローしていただき、大会までに神石高原町の魅力をチェックしてください。



### ふるさと納税

神石高原町の「ふるさと納税」で大会を応援できます！

ふるさと納税でのご支援は、大会開催に向けたプログラム作成、町内児童とスカウトの交流に係る移動費、景観の整備費や、道路改良費などに活用される予定です。



一般社団法人神石高原町観光協会提供

## お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。

大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



公益財団法人  
ボーイスカウト日本連盟  
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
Tel: 03-6913-6262



# NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

## 第2号

第19回日本スカウトジャンボリー  
ジャンボリーインフォメーション  
2025年11月26日発行

### ジャンボリー インフォメーション とは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

■参加申込・・・・・・・・・・1 予定申込・確定申込 交替参加	■サブキャンプライフ・・・・4 サイトでの生活 サブキャンプの設備	■プログラム情報・・・・・・7 モジュールプログラム 地域プログラム
■大会運営スタッフ・・・・2	■配給と献立・・・・・・・・・・6 派遣隊の食事・食材配給 本部食堂 アレルギー対応	■大会テーマソング・・・・・・8
■輸送・・・・・・・・・・・・・・3		■コミュニケーション・・・・9
		■会場マップ・・・・・・・・・・9
		■神石高原町・・・・・・・・・・10

## 参加申込

### 予定申込締切間近！

皆さん、参加予定申込を済ませましたか？

現時点では、多くの県連盟において各団からの申し込みを受け付け、日本連盟の締め切りに向けて集計している頃でしょう。予定申込を忘れてしまった方は、団・地区を通じて県連盟にご相談ください。

大会本部の各部では、皆さんの予定申込をもとに、大会準備を具体的に進めていきます。

### 確定申込は4月！

大会の参加者（派遣隊スカウトおよび指導者）・大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフは、参加予定申込に続いて、参加確定申込を行うことで正式な参加者登録となります。次の期日までに参加費（予納金を除いた残額）を添えて、申し込み手続きをお願いします。

団から県連盟への申込  
2026年4月10日（金）  
もしくは、県連盟・地区で定める日まで  
県連盟から日本連盟への申込  
2026年4月20日（月）

参加予定申込後の参加者の変更や、参加確定申込からの新規申込も可能ですが、派遣隊については、予定申込より大幅な人数の増減が生じる場合には、所属県連盟を通じて日本連盟と調整のうえ、申込手続きを進めてください。

### 派遣隊

派遣隊 1 団あたり40人とし、ボーイスカウト班とベンチャースカウト班で編成し、班数分の指導者を選任してください。

隊長を除く指導者については、2人1組による交替参加が可能です。

### 大会運営スタッフ

#### 県連盟派遣団本部スタッフ

大会運営スタッフには、ローバースカウト・指導者・スカウトクラブ会員などが参加でき、本大会では県連盟派遣団本部スタッフを含め、約1,600人のスタッフを必要としています。大会運営スタッフは、各県連盟派遣団の派遣隊1 団につき、10人以上の推薦をお願いしていますので、ご協力をお願いします。

大会運営スタッフを希望する方は、今後お知らせするジョブカタログにて各部の主な業務内容や必要な特技・技能・資格などをご確認のうえ、第1希望から第3希望までの部署を選択し、お申し込みください。

なお、やむを得ず全日程参加できない場合には、2人1組による交替参加、または遅参・早退が可能です。参加費は、交替参加の場合は1人あたり40,000円、遅参・早退の場合は参加費の減額はありません。



## 派遣隊指導者および

### 大会運営スタッフなどの交替参加

派遣隊指導者（隊長を除く）、大会運営スタッフ（運営委員・専門部会員を除く）・県連盟派遣団本部スタッフ（派遣団長を除く）で、やむを得ず全日程参加ができない場合、大会前半・後半（2人1組）での交替参加（参加費1人あたり40,000円）が可能です。

交替参加にあたっては、入退場時の輸送手段の確保、重複期間の食材の配給や給食、生活サイトの利用を効率よく運営するため、交替参加者の入場・退場日を定め、大会中日の8月7日（金）に業務を引き継ぎます。交替参加は、県連盟派遣団本部による参加人員の割当や輸送計画などにも影響しますので、可否については所属の県連盟にお問い合わせください。

参加区分	参加日程	遅参早退
派遣隊指導者 （隊長を除く）	前半：4泊5日・12食 8月4日(火)夕食～8月8日(土)昼食	不可
	後半：4泊5日・11食 8月6日(木)夕食～8月10日(月)朝食	
大会運営スタッフ （運営委員・専門部会員を除く） 県連盟派遣団本部スタッフ （派遣団長を除く）	前半：6泊7日・18食 8月2日(日)夕食～8月8日(土)昼食	可
	後半：5泊6日・14食 8月6日(木)夕食～8月11日(火)朝食	

#### 【大会運営スタッフの留意事項】

- ・奉仕部署によっては、交替参加者に対応できない部署もあります。遅参・早退については、参加日程によっては希望部署に添えない場合があります。
- ・交替相手とともに同一部署に申し込むことを原則とします。
- ・派遣隊1隊あたり10人の大会運営スタッフの割当については、交替参加の場合には2人1組を1人分とします。

## 大会運営スタッフ

### 大会運営スタッフの入退場

入場は、原則として8月2日(日)の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了することとなります。一部の大会運営スタッフ、例えば運営委員や専門部会員の一部、ならびに大会運営スタッフの到着受け入れ等に必要なスタッフは8月1日（土）に入場することとなります。

退場は、派遣隊の退場完了後の8月11日(火)の朝から正午までを予定しています。

会期中の会場内では個人の車両は使用できません。大会運営スタッフが乗車してきた車両は、会場外の留め置き駐車場を利用します。駐車台数に限りがありますので、極力乗り合わせのうえ、県連盟を通じた輸送調査による台数把握にご協力ください。

### 大会運営スタッフの生活

会場内の指定されたエリアで生活をします。食事は、本部食堂での給食（一部携行食の配給）となります。給食と配給は、8月2日（日）夕食から8月11日（火）朝食までとなります。

### 大会運営スタッフのプログラム

奉仕期間が長くなることから、大会運営スタッフがリフレッシュできる有意義なプログラムを計画しています。詳細は、来年春頃にお知らせする予定です。

県連盟派遣団本部スタッフも「生活」「プログラム」は上記に準じます。

大会運営スタッフは、次の10の部署のいずれかに所属して各部の所管業務を担います。

総務部	大会本部の会議、参加者および見学者の受付、外国派遣団、来賓、救護所等に関すること
サブキャンプ部	サブキャンプの運営、派遣隊の生活やプログラム、遺失物・拾得物に関すること
スタッフサービス部	大会運営スタッフの配属、スタッフの生活に関すること
プログラム部	場内外プログラム、信仰奨励、全体行事に関すること
安全・警備部	参加者の安全管理、会場内の警備、大会の危機管理、緊急避難等に関すること
輸送部	会場内および周辺の交通統制、人員や荷物の輸送、駐車場等に関すること
会場運営部	会場利用、施設、設備、資材、器具、ごみ処理、し尿処理等に関すること
配給・食堂部	参加者の食料や炊事用燃料、スタッフへの給食等に関すること
広報部	大会の情報提供、報道、大会記録、スカウト通信員プログラム等に関すること
売店部	売店地域、スカウトショップ等に関すること

## 輸送

### 人員輸送について

会場周辺は、国道、県道、町道や農道などの町民生活と密接した一般道路が通っていることから、極力関係車両の通行量を減らし地域住民への影響を最小限に抑える必要があります。

会場にいたる道路に国道182号（概ね片側1車線）があり、山陽自動車道、中国自動車道を利用するいずれの場合でも当該道路を利用するため、集散時にはかなりの車両の集中が予想されます。また各高速道路を利用する場合、国道182号の周辺施設には大型バスを待機させる駐車場がありません。このため、高速道路のサービスエリアにてトイレ休憩などを含め、指定された会場到着時間に合わせて時間調整をする必要があります。

### 資機材輸送について

人員輸送と同様に地域住民への影響を最小限に道路交通調整をかけていきます。

各派遣隊の資機材の輸送については、会場内にコンテナやJITBOXなどの資材保管場所の確保が難しいことから、バスへの混載、またはトラックなどによる搬入出を予定しています。

派遣隊入場日の前日に資機材を搬入させる場合は、当該県連盟において道路から資材の荷卸し、キャンプサイトまで移動を行います。

または当日、派遣隊の入退場と同時に搬入、搬出することとし、1時間の枠で人員の乗り降りと資機材の積み込み・荷卸しを検討しています。

なお、宅配便などでの荷物授受はお受けできません。

### 輸送（駐車場、シャトルバス情報）

留め置き駐車場については、現在、会場周辺に確保するよう神石高原町と調整しています。大会運営スタッフなどの個人利用については、極力乗り合いのうえ台数を減らして受け入れるようにします。

また、大型車が停められる場所は未定ですが、第1次輸送調査にて、希望を把握します。

福山駅から会場までの輸送手段として、シャトルバスの運行または既存の路線バスの増便・延伸の両方をバス事業者と調整しています。





## サブキャンプライフ

～仲間とともに暮らし、学び、楽しむジャンボリーの毎日～

今大会では、全国から集まったスカウトたちが、4つのサブキャンプに分かれて生活します。

それぞれのサブキャンプには、開催地である神石のアルファベット頭文字から、JOURNEY（ジャーニー）・NATURE（ネイチャー）・SKYLINE（スカイライン）・KIZUNA（キズナ）の名前をつけ、ロゴマークも決定しました。皆さんは、このうちのいずれかのサブキャンプで1週間を過ごすことになります。

サブキャンプ地域は、ゴルフ場のコースで計画しています。主に草地のフェアウェイ部分をキャンプサイトとして利用して、ティーやバンカー、グリーンなどは立ち入り禁止となります。



4つのデザインを組み合わせると、神石高原町の町木「ヤマボウシ」になります。

長く続く一本道と歩を表現する足跡で構成し、進む道を示すコンパスを配置したデザイン

豊かな森と神石高原町内にある帝釈峡と魚切溪谷の滝のイラストとヤマボウシを配置したデザイン

スカイラインを表現する、街と山のシルエットに広がる空に飛び立つ鳥で構成し、紙飛行機を配置したデザイン

さまざまな想いをもって集まったスカウトをカラフルなパズルで、ネッカチーフの友情結びで絆をそれぞれ表現したデザイン



### サイトでの生活

各派遣隊には 1 サイト（約600㎡・40人基準）の区画が割り当てられます。

テントを張り、調理や食事、集会を隊ごとに行います。ここがジャンボリー期間中の「自分たちの家」となります。

キャンプサイトのほとんどは、ゴルフコースのフェアウェイで固い土質です。草地のため、直火によるたき火や生活雑排水を土壌浸透させないように、各派遣隊でかまどや炊事場を工夫して炊事を行ってください。

テントやフライを張る際のペグやピンなどは、撤営時には必ず抜いて、できた穴を必ず元に戻してください。ゴルフボールがはまるような大きな穴を残す、太い杭の使用は禁止します。

### サブキャンプの設備

各サブキャンプには、生活を支えるために次のような施設を整備します。

#### 給水・排水設備

水は限られた資源です。節水を心がけて使いましょう。

飲料や炊事などに利用する水は、会場周辺の水道水を分けてもらいます。一人あたり1日7～8リットル、1こ隊40人で1日280～320リットルが使用できる目安です。派遣隊は、各サブキャンプの水汲み場からキャンプサイトへ水を運び使用します。

また、生活雑排水を土壌浸透させないように、水汲み場に隣接して設置する汚水枡に各隊サイトで排出した生活雑排水を集めて、処理します。

## トイレ

快適な生活を保つために大切な場所です。

各サブキャンプには、汲み取り式の仮設トイレを設置します。汲み取り式トイレには不便を感じるかもしれません。生活環境の変化に慣れ、食事や排便など普段のリズムで生活できることが、毎日の健康管理につながります。

また、次に利用する人のことを想い、きれいに利用することや、利用者自身によるこまめな清掃を心がけましょう。

## シャワー

排水処理の関係で会場内の2箇所に集中配置します。

各シャワー施設は、男子スカウト、女子スカウト、男性指導者、女性指導者の4つに区分した仮設のシャワー設備と洗面所を設置します。利用者が集中する時間帯には混雑することがあるので、より多くの参加者が利用できるよう短時間で利用しましょう。シャワーでの忘れ物が多く見受けられます。利用後に、衣類や洗面用具が残っていないか必ず確認しましょう。

シャワーと洗面に利用する水は、飲料水とは別に水源を確保するよう調整していますが、参加者全員が毎日利用するには不足する可能性があります。少ない水で身体を拭くなど、毎日シャワーを利用しなくても衛生を保てる方法を身に付けましょう。

## サブキャンプ広場

交流活動などを行う場所です。

## サブキャンプでの一日

起床・朝食・集会・プログラム参加・夕食・就寝といった規則正しい生活を送りながら、仲間と協力して暮らします。

清掃やごみの管理は全員の責任です。「人と地球によりよい未来を」を体現するため、自然環境にやさしい野営ができるように事前に準備して参加しましょう。

## 出会いと交流

サブキャンプは、各派遣隊のキャンプサイトであると同時に、仲間づくりの場でもあります。

今大会では、サブキャンプにさまざまな県連盟の派遣隊が配属されます。

自分たちの隊の周りには、今まで行っていない県や海外からの派遣隊が配属されているかもしれません。

国内外から集まったスカウトと共に活動し、サブキャンププログラム（交流プログラム）や各隊での交流を通じて友情を広げましょう。

## 今後のご案内

献立や配給、各サブキャンプに配属される県連盟の詳細については、今後のジャンボリーインフォメーションでお知らせします。サブキャンプライフを充実させるための追加情報も、順次お届けしていきます。



## 配給と献立

### 派遣隊の食事

派遣隊の食事は野外炊事とし、神石高原町の美味しいお米や地元特産品を使用し、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます。

配給は朝夕の1日2回行い、朝の配給時に昼食用携行食を配ります。参加者は、携行食を持って各プログラムサイトに移動することで、サブキャンプに戻ることなく午前・午後のプログラムに続けて参加することができます。また、炊事用の燃料は薪を配給します。

### 食材の配給

食材は、8月4日（火）夕食分から8月10日（月）朝食分までの17食分を配給します。非常食として8月10日（月）朝食の一部を8月4日（火）に配給します。食料の取り扱いについては、特に衛生面に注意を払い、残った食材については食中毒の恐れがあることから、次の食事に持ち越さずに廃棄してください。

派遣隊は、1こ隊40人を基準の量として、サブキャンプで食材を受け取ります。なお、過去のジャンボリーでは、氷の斡旋を行っていましたが、食材の保持、暑さ対策の一環として、一律に配給できるよう調達方法を検討しています。

### 本部食堂での給食

本部食堂は、8月2日（日）夕食分から8月11日（火）朝食分までの26食分を給食・配給します。大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、本部食堂にて給食を受け、昼食の携行食を朝食時に受け取ります。限られたスペースを効率よく運営するため、給食方法や地元特産品の献立などを検討しています。

### アレルギー対応について

食品のアレルギーについては、「食品衛生法」で表示義務があるアレルゲン特定原材料の7品目「小麦・卵・乳・エビ・カニ・そば・落花生」を記載します。

アレルギー対策として、上記の7品目については、一部代替食を用意しますが、7品目でも複数のアレルギーがあったり、微量の混入でも発症する場合、また、それ以外の20品目については、個人および派遣隊の方で、代替食を準備していただくことも配慮してください。

献立が決定したら、食材の20品目についても、随時インフォメーション等でお知らせします。

#### 特定原材料（7品目）

小麦・卵・乳・エビ・カニ・そば・落花生

#### 特定原材料に準ずるもの （20品目）

アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・マカダミアナッツ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン





## プログラム情報

今大会のプログラムは、緑豊かな山間地域が広がる備後地域の自然環境を取り入れながら、地域に密着したプログラム、また、スカウト運動が「平和」に貢献していることを実感し、「世界平和」に向けた新たな取り組みを考えるプログラムなどを企画しています。

大会のプログラムは、半日単位で参加するモジュールプログラム、日中の余暇の時間や夜間に実施するサブキャンププログラム、すべてのスカウトが参加する地域プログラムで構成します。

### モジュールプログラム

モジュールプログラムは、そのねらいにより5つのテーマに基づき、場内の各モジュール（プログラムエリア）で展開します。それぞれのモジュールには、複数のテーマのプログラムを準備しています。モジュールプログラムには、各派遣団からもプログラム提供され、実施します。

#### テーマ①：競技的プログラム

進級課目と関連させた個人や班の対抗競技により、一つ上の進級を目指すプログラム

例) 班旗立て、火起こし、丸太切り など

#### テーマ②：チャレンジプログラム

新たなことに挑戦し、自身を成長させるプログラム

例) 大型構築物、通信や計測技能を使う競技など

#### テーマ③：知的・体験プログラム

自然や科学、伝統、文化などの体験をとおして将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげることができるプログラム

例) 企業・団体によるプログラムなど

#### テーマ④：人権・平和プログラム

人権・平和、多様性・公平性をテーマにさまざまな体験により、SfHやDEIを促進させるプログラム

#### テーマ⑤：環境・防災プログラム

自然の中で考え・実践していくロールプレイ要素を兼ね備えたプログラム

※SfH: Safe from Harm

DEI: Diversity・Equity・Inclusion

### サブキャンププログラム

サブキャンプ内で実施するプログラム

### 信仰奨励・奉仕活動

隊や班におけるスカウトタウン・サービスを通して、「ちかい」と「おきて」の実践や平和などについて考え、スカウトとして行動を起こします。プログラムエリアには各教宗派によるパビリオンが設置され、日々の信仰活動（礼拝等）を実施したり、自身の信仰と異なる教宗派を知ったりすることができます。



#### 日本一チャレンジ

今回のジャンボリーのプログラムでは、「競技的プログラム」として、火起こしや手旗、班旗立てなどを全国の隊と競い合います。各隊の通常の活動の中で、事前にトレーニングを行い日本一を目指しましょう。

## 地域プログラム

今大会では、地域とつながることを重要なコンセプトとしており、場外で体験するプログラムを「地域プログラム」と呼びます。

期間中すべてのスカウトが、地域プログラムに参加できるよう準備をしています。

地域プログラムは、次の4つのエリアに分けており、それぞれのエリアには複数のテーマのプログラムを準備しています。

ベンチャースカウトを対象とした地域プログラムでは、一部追加で費用が発生する場合があります。また、事前申込制として、ベンチャー班による企画・計画によるプロジェクトとして取り組むことができるよう計画しています。

次号以降で詳細はご案内いたします。

### エリア①：しまなみ

しまなみ海道をエリアとし、瀬戸内海の自然や歴史と向き合う、挑戦的なプログラム

### エリア②：せとうち

瀬戸内海に面した尾道・福山・笠岡地域をエリアとし、瀬戸内海の自然保護や地域の歴史を学んで、未来を考えるプログラム

### エリア③：神石高原町

神石高原町内をエリアとし、地域で営まれている生活に積極的に関わることで、社会との協同、奉仕の精神を学ぶプログラム

### エリア④：中国自然歩道

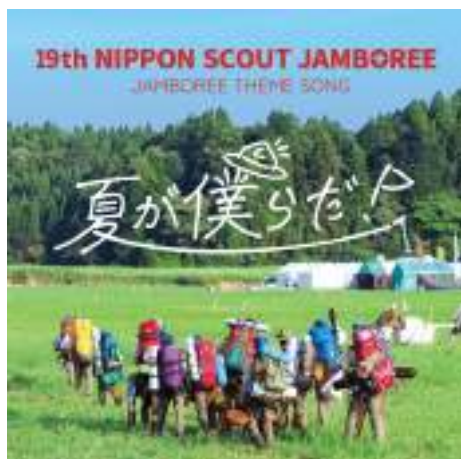
神石高原町北側に広がる中国山地、さらに山陰をエリアとし、大自然に挑み、自らを鍛えていくプログラム

## 大会テーマソング

大会ウェブサイトを通じてテーマソングを公募したところ、全国のスカウト仲間や一般の方、12人（組）から13作品の応募がありました。そして、19NSJ運営委員会での審査の結果、次の作品を大会テーマソングに決定しました。

選考するにあたり、楽曲として素晴らしいことはもちろん、隊や班でみんなが歌いやすいこと、伴奏がなくても楽しく歌え、会場で全員と一緒に歌えることなどを選考のポイントとしました。

大会ウェブサイトで楽曲を公開していますので、ジャンボリー本番に向けて、みんなで練習しましょう！



### 夏が僕らだ！

作詞/作曲/編曲：野村 和也  
(東京連盟台東第3団VS隊副長)

1.  
めいっぱいの荷物は ちょっと重いけど  
たくさんの期待と 世界を駆けよう  
さあ準備して 信号送ろう  
未来に刻むんだ ジャンボリー  
Let's Go! 冒険だ 知らない場所だって  
この挑戦は 絆の証
2.  
語り継がれた 歴史と友情  
集まった誰もが 永遠の仲間  
さあ出発だ コンパスの向こうへ  
先陣切って進むんだ ジャンボリー  
Let's Go! 冒険だ 知らない場所だって  
この挑戦は 絆の証  
太陽は僕らのアツさ  
今神石の 夏が僕らだ！

## コミュニケーション

### 大会ウェブサイト

大会特設ウェブサイトを公開しました！  
開催まで残り300日を切り、さまざまな情報がどんどん掲載されていきます。今後も会場案内、募集要項、参加にあたってのヒントなど、順次アップデートしていく予定です。定期的にチェックして最新の発表をお見逃しなく！

<https://19nsj.scout.or.jp/>



### 大会ウェブサイト公開しました /



## 会場マップ

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とします。

会場内には「生活エリア（サブキャンプ）」や「プログラムエリア」そして「大会本部エリア」などを配置します。



※会場利用計画は今後変更になる場合があります。



## 神石高原町

### プロモーショングッズの贈呈

大会の開催にあたり、神石高原町から多大なるご支援・ご協力をいただいております。町内での機運を醸成するため、町役場の職員や関係者の皆さまに着用してもらえるよう大会のネックストラップとピンバッジを入江町長へ贈呈いたしました。



### ふるさと納税

広島県神石高原町が実施する「ふるさと納税型クラウドファンディング」では、19NSJを応援するプロジェクトを設けていただいております。

皆さまからのご寄付は、「大会プログラム」「町内児童とスカウトの交流」「景観の整備や道路改良」などに活用されます。

神石高原 ふるさと納税 ジャンボリー



### チャリティーゴルフコンペ

大会会場となるゴルフ場「カントリーパーク仙養」にて、ゴルフコンペが開催されることとなりました。コンペの参加費の一部は大会の運営資金となりますので、会場視察も兼ねて全国の指導者の皆さまはぜひご参加ください。

期間：2025年12月1日～2026年5月31日

(1月・2月は積雪の可能性があるので中止)

電話またはメールで「カントリーパーク仙養」にお問い合わせください。

電話：0847-89-0022

メール：info@senyo-gahara.com



ジャンボリーインフォメーション第3号は2026年1月頃に発行する予定です。

第3号への掲載予定内容：救護体制、健康管理、見学者情報、サブキャンプライフ、プログラムや全体的行事、薪割りの注意、リスニングイヤー（カウンセリング）、配給と献立など

## お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。

大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



公益財団法人  
ボーイスカウト日本連盟  
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
Tel: 03-6913-6262